

# 公庫レポート

- ◇ポストコロナ時代における  
沖縄観光の二次交通に関する調査  
～レンタカーを利用しない  
観光客のニーズから考える移動手段～





ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査  
～レンタカーを利用しない観光客のニーズから考える移動手段～

- 目 次 -

第1章 調査要領.....	1
1. 背景.....	1
2. 目的.....	1
3. 調査内容.....	1
第2章 調査要旨.....	2
第3章 観光地における二次交通の現状と課題.....	5
1. 旅行市場の現状.....	5
2. 沖縄観光の現状.....	6
3. 沖縄の二次交通の現状.....	8
(1) 供給面.....	8
(2) 需要面.....	10
第4章 ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査.....	13
1. 沖縄の公共交通の観光・旅行における旅行者側のニーズ把握（旅行者インタビュー）... 13	13
(1) 調査概要.....	13
(2) 調査結果.....	14
2. 旅行者の地方観光地での移動手段に関する調査（WEB アンケート）.....	15
(1) 調査概要.....	15
(2) 調査結果.....	15
3. 観光地間の移動サービスにおける可能性調査（事業者ヒアリング）.....	22
(1) 調査概要.....	22
(2) 調査結果.....	22
第5章 まとめ.....	26
1. 沖縄観光の二次交通の現状と課題.....	26
2. 現状と課題を踏まえた沖縄観光に対する提言.....	28
3. 「沖縄観光の二次交通の現状と課題」と「沖縄観光に対する提言」の対応.....	32
【参考資料】WEB アンケート設問.....	34

# 第1章 調査要領

## 1. 背景

中長期的な旅行市場の変化を踏まえると、沖縄を訪れる観光客の地域内での交通手段は、今後も一定程度のレンタカー需要は残る一方で、これまで以上に「レンタカーを使わない旅行者」が増加し、二次交通の位置づけが高まると推察される。これまでの沖縄観光は、レンタカーや大型観光バスによる移動を前提としてきたが、「自動車を運転できない者が、来訪を諦めている」という機会損失も想定されることから、二次交通の整備により、取りこぼしていた需要獲得も期待される。

一方、交通事業者を取り巻く環境として、バス、タクシー事業者では、運転手の高齢化や人手不足、利用客数の減少等から、今後の事業継続への懸念がある。またレンタカー事業者は、コロナ禍の事業環境の悪化からレンタカー台数を削減しているため、GW等において「レンタカー不足」が発生しており、今後オンシーズンも同様の事態が想定される。

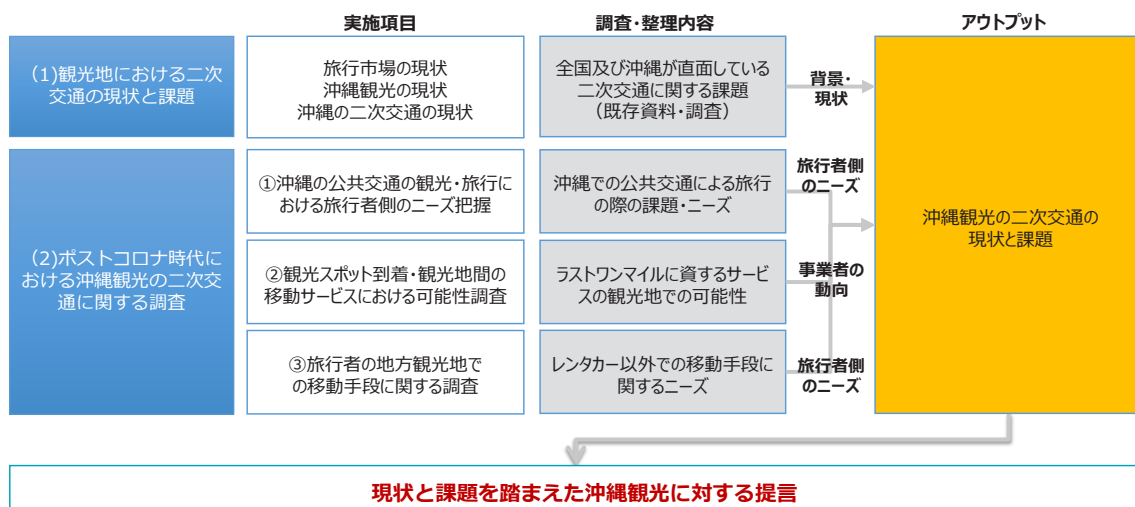
県内では近年、行政を主体として、観光客の公共交通利用の促進を目的とした二次交通の利便性向上に向けた取組やレンタカーを利用しない旅の情報提供等、各種事業を進めているが、「路線バス降車後の観光スポットへの移動」や「観光スポット間の円滑な移動」といった地域交通のいわゆる「ラストワンマイル」においても、利用者目線に立った利便性や機動性を向上させる取組が必要と考えられる。加えて、「路線バスの利用が困難な旅行者」が周遊する「バリアフリーな移動手段」等、“多様な二次交通サービスの提供”がこれまで以上に求められていると言えよう。

## 2. 目的

本調査では「ポストコロナ時代に車（レンタカー）を利用しない観光客が沖縄観光を楽しむための移動手段」について、旅行者側のニーズや事業者の動向等をもとに検討し、今後の沖縄観光施策立案の一助とすること及び観光関連事業者や交通事業者への情報発信・情報提供を行うことを目的とする。

## 3. 調査内容

本調査は下記の内容から構成される。



## 第2章 調査要旨

「ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査」の結果の要約と、その結果も踏まえて取りまとめた「今後の沖縄観光における二次交通についての提言（骨子）」は以下の通り。

### ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査（結果の要約）

#### ■「沖縄は車なしでは楽しめない」といったイメージが定着し、車を利用しない沖縄旅行の経験の共有（発信）も不足

- ・ 旅行の計画時における、車を利用しない便利な県内移動情報が不足
- ・ 特に子連れの子なし旅行について、旅行者の実体験に基づく情報が得られない
- ・ 沖縄旅行は、車がないと周遊が楽しめないというイメージが定着
- ・ 車なしの旅行でも、事前に計画を立てていれば、相応の満足感を得られる
- ・ 沖縄のような、車での移動が主となる観光地であっても、「車以外の交通手段で旅行ができる」、あるいは「その地域に魅力が感じられれば」車の運転に抵抗がある人や免許を持っていない人にも旅行先として選ばれる

#### ■機動的なラストワンマイル<sup>※1</sup> 手段の不足により、行きたい場所に行けなかった旅行者も存在

- ・ 徒歩 20～30 分程度の距離の観光スポットまで、機動的なラストワンマイル手段がないため、訪問を断念した
- ・ 未就学児を含む家族連れは、他の同行者グループに比べ、旅行先での車を使わない移動に関して不便を感じる場面が多い
- ・ ワンマイル交通サービスの導入は移動の総量を増加させる（従来は行くことができなかった観光スポットや店舗に行くことができる）
- ・ トウクトウ<sup>※2</sup> や電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出すことが可能（ただし、雨天時は使用が難しい）
- ・ 沖縄で利用したいラストワンマイルの移動手段としては、電動のレンタサイクルが最も多い
- ・ 未就学児を含む家族連れは利用したいワンマイル交通として、他の同行者と比べ、特にカーゴバイク<sup>※3</sup>を選択する割合が高い

※1 本調査では「宿泊地や主要観光地から、徒歩 30 分程度の移動（例：飲食店に行く、コンビニや買い物に行く、次の観光スポットに移動する等）」をラストワンマイルと定義

※2 東南アジア等で多く利用されている三輪自動車のこと

※3 大きな荷物や子供を乗せて運搬できる自転車のこと

#### ■旅行者は旅行先での移動において「安全」「安心」「快適」「定時制」を重視

- ・ 旅行先の移動で重視することは、「安全」「安心」「快適」「定時制」
- ・ 情報収集時では、「乗り場情報」「時刻表」「リアルタイム運行状況」といった公共交通の基本的な情報が見つけにくいことが課題
- ・ タクシー配車アプリは、運転手や到着時間等が可視化される安心感もあり若年層の利用が多い

- ・ 配車アプリによるデータ活用や相乗りサービス等、新たな取組によって利用者の利便性を高めるとともに、企業としても収益性を高め、若い世代の運輸業への就業にもつなげたい

#### ■ 地域×交通事業者や交通事業者間のコラボに可能性

- ・ 地域との連携や交通サービス同士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れている
- ・ 自由経路型のAI オンデマンド交通は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に加えて地元交通事業者の収入安定に寄与

#### ■ 現行制度の柔軟な運用により、旅行者や地元事業者に便益

- ・ AI オンデマンド交通の mobi は2023年2月現在全国 11 都市で展開しているが、道路運送法第 21 条における期間限定の「実証実験」による運行にとどまっている
- ・ Uber のような運転手の顔が見えるライドシェアサービスは、旅行者に一定の魅力がある

#### 今後の沖縄観光における二次交通についての提言（骨子）

#### 1. 「レンタカーを使わない沖縄旅行」の“実体験” 情報も交えた発信強化による旅行者マインドの転換

- ✓ レンタカーを使わない沖縄旅行の、便利さや不便さも含めた「実体験」の発信を推進
  - ・ SNS 投稿推進、リアルな旅の報告の発信 等

#### 2. “沖縄にマッチした”“環境に優しい”ラストワンマイル交通サービスの充実

- ✓ 機動力の高い移動サービスの充実による周遊促進
  - ・ 電動レンタサイクル、電動キックボード 等
- ✓ 未就学児を含む家族連れへの対応
  - ・ カーゴバイク 等
- ✓ 沖縄特有の天気(雨天の多さ、炎天)への対応
  - ・ オンデマンド交通(mobi 等)
- ✓ 沖縄ならではの、移動そのものの楽しさの提供
  - ・ トウクトウク 等

#### 3. 快適な移動を担保するインフラ整備

- ✓ 車以外の移動に優しい道路整備
  - ・ バス専用レーン、自転車専用レーン
- ✓ 車なし移動の所要時間や料金イメージの提示
  - ・ 主要スポット間の移動時間マップ、配車アプリ推進
- ✓ 交通情報の集約・連携(Google マップ等)
  - ・ バス位置情報の可視化、タクシーやレンタサイクル等あらゆる二次交通情報の一元化
- ✓ バス停の刷新
  - ・ 屋根・ベンチの設置(炎天・雨天対応)、バス停 DX(運行情報、ホテル・観光地案内)

#### 4. 地域や事業者間連携による最適化

- ✓ 交通事業者間連携、地域×交通事業者連携
  - ・ 地域×交通事業者連携商品、タクシー×電動キックボード商品、AI オンデマンド交通導入

## 5. 制度面における検討

- ✓ 利便性や柔軟性の高いオンデマンド交通の導入
  - ・ オンデマンド交通の更なる展開
- ✓ タクシー等の少ない地域におけるライドシェアサービスの実用に向けた検討
  - ・ ライドシェアサービスの試験的な実施

以上

### 第3章 観光地における二次交通の現状と課題

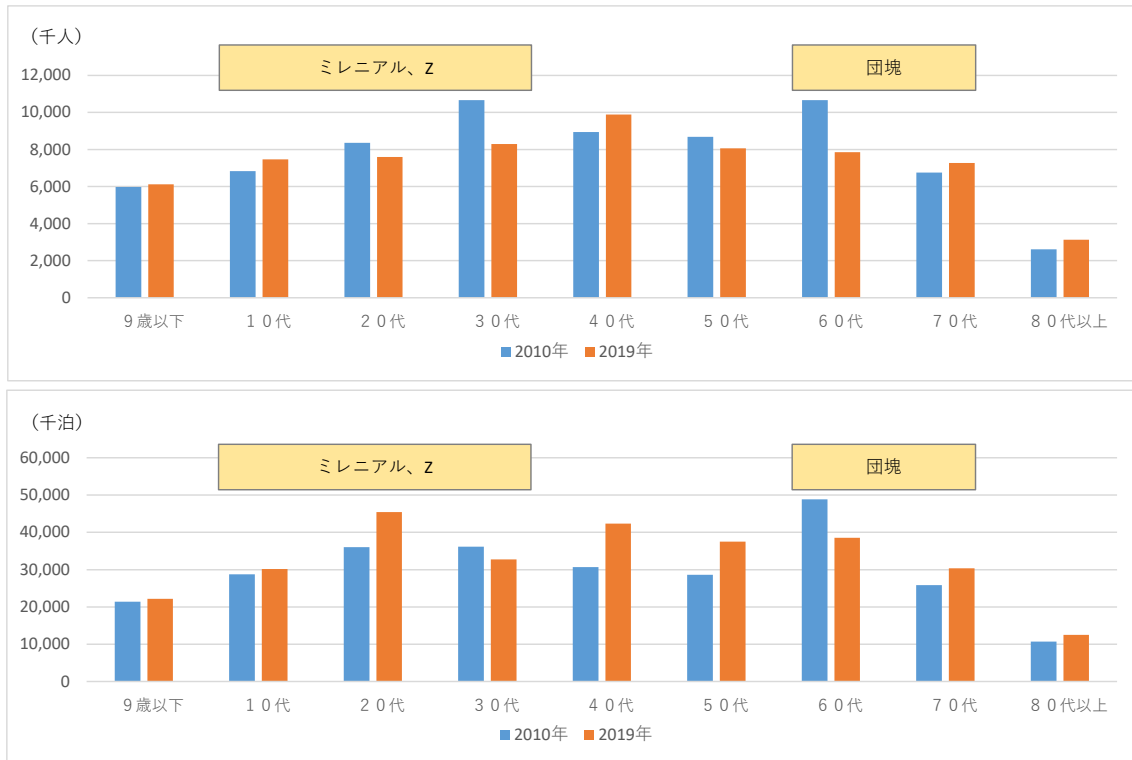
#### 1. 旅行市場の現状

##### 【国内市場の世代交代】

これまでの国内旅行市場は、人口ボリュームの大きい団塊世代に支えられてきたが、宿泊観光旅行者の年代別動向を2010年と2019年で比較すると、団塊世代（70代）は、10年前（当時60代）と比べて延べ泊数が大幅に減少している一方、2019年の延べ泊数が最も多い年代は20代となっている。

このように市場の主役となる世代（旅行牽引世代）はミレニアル世代、Z世代にシフトしつつある。

国内宿泊旅行（観光・レクリエーション）の実旅行者数（上）と延べ泊数（下）の年代別変化



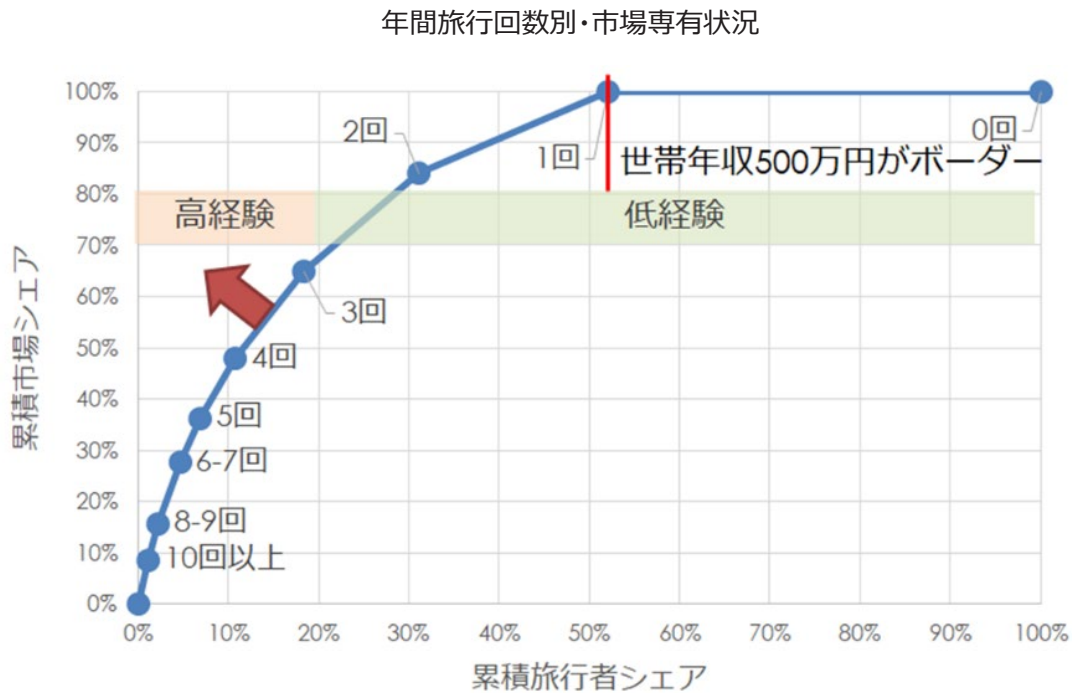
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成



### 【「旅行する人」と「旅行しない人」の格差拡大】

国内旅行市場はパレート分布しており、旅行者の上位 2 割（年間 3 回以上旅行する層）が旅行市場の 8 割を占める。また、世帯年収 500 万円が年 1 回の旅行のボーダーライン。

旅行は経験財とも言われており、経験の積み重ねが次なる旅行を促進するため、今後、所得格差が進行する場合、それに応じて旅行実施の格差も拡大する可能性がある。



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」（2019）より作成

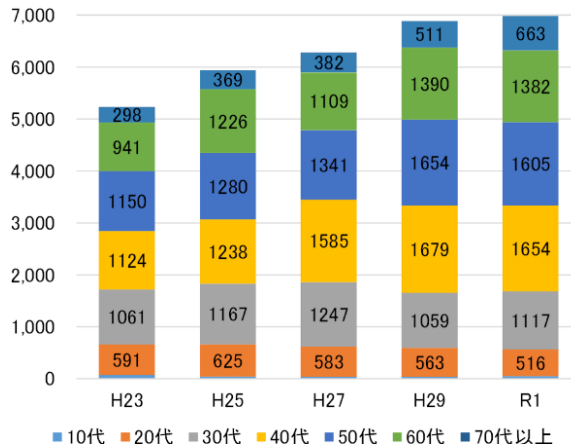
## 2. 沖縄観光の現状

### 【20 代旅行者の伸び悩みと市場の高齢化による市場の縮退】

沖縄を訪れる入域観光客数は長期にわたり増加が続いている。インバウンドの伸びが顕著ではあるが、平成 24 年度から平成 30 年度にかけては県外客数自体も増加が続いてきた。しかし、年代別に見ると 40 代以上の増加が目立つのに対し 20 代と 30 代は横ばいで推移している。国内観光宿泊旅行市場全体で見ると 20 代の旅行が活発化しているが、沖縄においては伸び悩んでいる。

このまま 30 代以下の旅行者数が増加しなければ市場の高齢化が進み、やがて市場は縮退することが懸念される。

入域観光客数（県外客数）の推移（年代別）  
（千人）

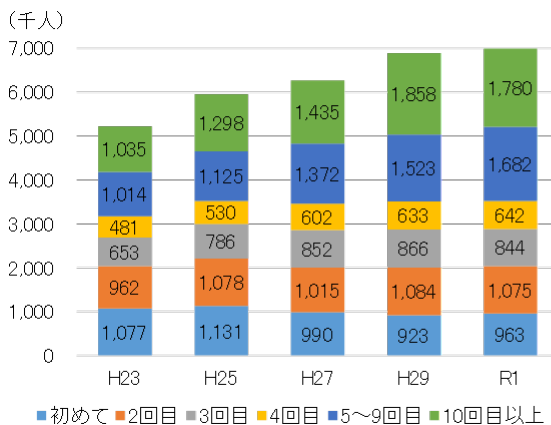


出典：沖縄県「観光統計実態調査」より作成

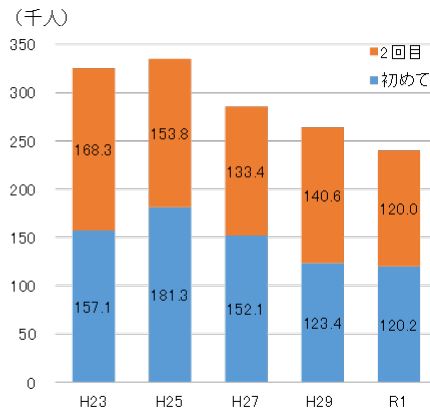
### 【新規旅行者の伸び悩み】

訪沖観光客数のうちリピーター比率は8割超に上る。リピーターは市場を安定させる一方で、新規旅行者が増えなければ市場は縮小する。訪沖旅行者数の推移を訪沖回数別に見ると、訪沖2回以下の割合は減少傾向にあり、ビギナーが多い20代で見ても同様の傾向にある。また20代の訪沖旅行者数は横ばいであることから、訪沖2回以下の20代旅行者は年々減少している。

訪沖旅行者数推移（過去訪沖回数別）



20代訪沖旅行者の過去訪沖回数  
（1-2回目）の推移



出典：沖縄県「観光統計実態調査」より作成

### 3. 沖縄の二次交通の現状

#### (1) 供給面

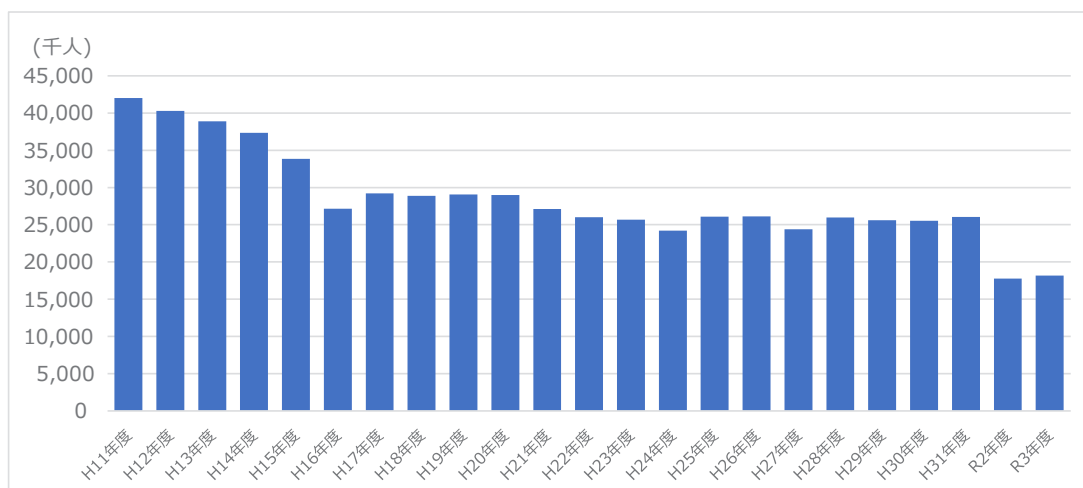
##### 【公共交通、タクシー産業の現状】

沖縄県は自動車依存型の社会構造となっており、それに伴い沖縄本島のバス輸送人員は、昭和 60 年度（約 7,720 万人）とコロナ禍前の平成 31 年度（約 2,600 万人）を比較すると約 7 割減少している。輸送人員の減少はバス会社の経営悪化を招くことになり、悪循環の構造となっている。

また、タクシー・ハイヤーの実働車両数も年々減少が続いており、それにともない輸送人員も減少傾向にある。

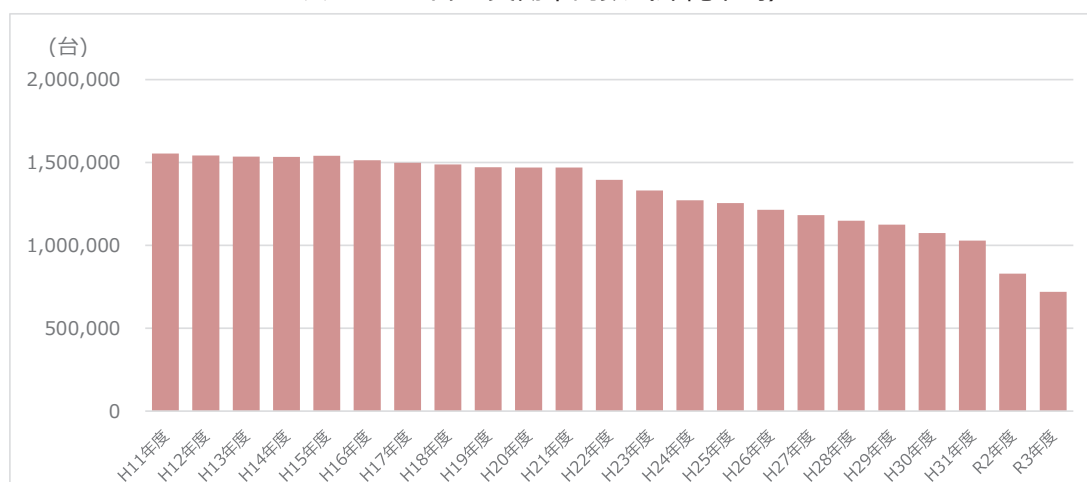
このように公共交通やタクシーが衰退することは、観光客にとってはレンタカー以外の選択肢を取ることが難しくするとともに、高齢者など交通弱者をはじめとした住民の利便性も失われることから、公共交通の維持は喫緊の課題と言える。

乗合旅客自動車運送事業の年間輸送人員の推移（沖縄本島）



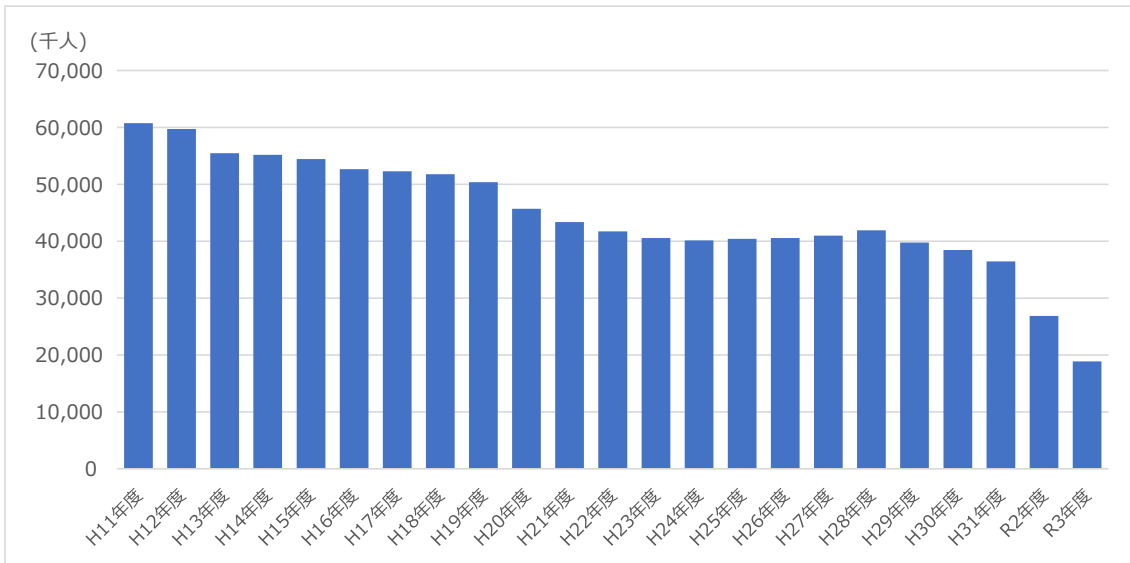
出典：沖縄総合事務局「運輸要覧」より作成

タクシー・ハイヤー実働車両数（沖縄本島）



出典：沖縄総合事務局「運輸要覧」より作成

### タクシー・ハイヤー輸送人員の推移（沖縄本島）



出典：沖縄総合事務局「運輸要覧」より作成

#### 【担い手不足】

「平成 27 年度観光客を対象としたタクシー利用促進に関する調査業務（沖縄総合事務局）」によると、タクシー運転手の高齢化が進んでいる上に、低賃金やキャリアパスが見えないことなどから若手の運転手のなり手が少ないという課題が指摘されている。

## (2) 需要面

### 【20代の沖縄旅行でのレンタカー利用率は減少していない】

沖縄旅行で利用する交通手段はレンタカーが最も多く、過去10年は横ばいで推移している。20代を見てもレンタカー利用率は75%前後と高い（業務、親族訪問等除く）。

しかし、全国的には20代のドライブ離れが進んでいることから、運転ができない20代は沖縄を訪問していないという状況も想定される。

#### 20代の沖縄旅行で利用した交通手段（複数回答）

（会議・研修、仕事、帰省・親族等の訪問を除く）

	H23	H25	H27	H29	R1
レンタカー	76.4	74.1	75.6	73.2	75.1
タクシー	27.4	22.8	32.2	-	-
貸切タクシー	-	-	-	1.9	2.8
一般タクシー	-	-	-	20.5	22.4
モノレール	21.1	25.2	28.8	25.6	28.7
路線バス	5.2	11.8	16.1	12.5	15.1
航空機（県内）	15.6	18.8	16.5	16.9	14.5
船（県内）	13.7	10.0	17.9	11.2	14.8
観光バス	11.3	9.9	8.9	10.1	6.5
自転車	7.1	4.1	9.2	6.7	6.3
自家用車・法人車	3.3	3.6	3.2	5.1	4.1
その他	2.0	2.1	5.2	3.7	2.7

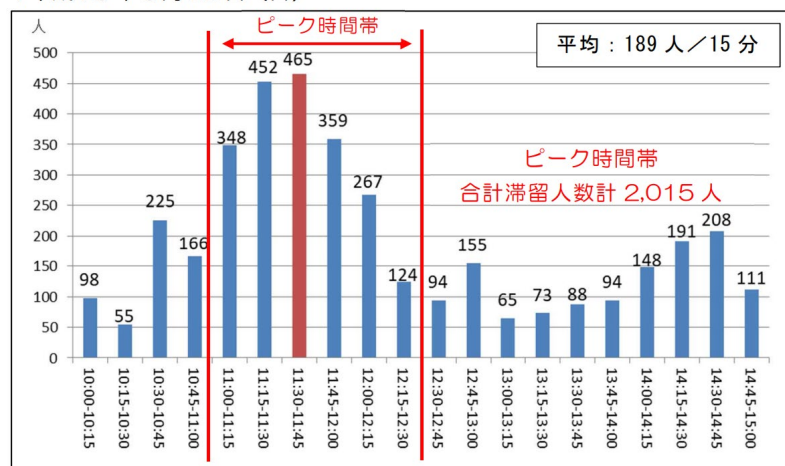
出典：沖縄総合事務局「運輸要覧」より作成

### 【レンタカーを借りるまでの所要時間の長さ】

沖縄総合事務局「平成29年度那覇空港の接車帯における混雑緩和検討調査業務」によると、夏期ピーク期においては空港到着からレンタカーを借り受けるまでの所要時間が最大2時間となり、観光客の満足度低下の要因となっている。

#### レンタカー送迎車両乗り場（中之島）の滞留人数（休日）

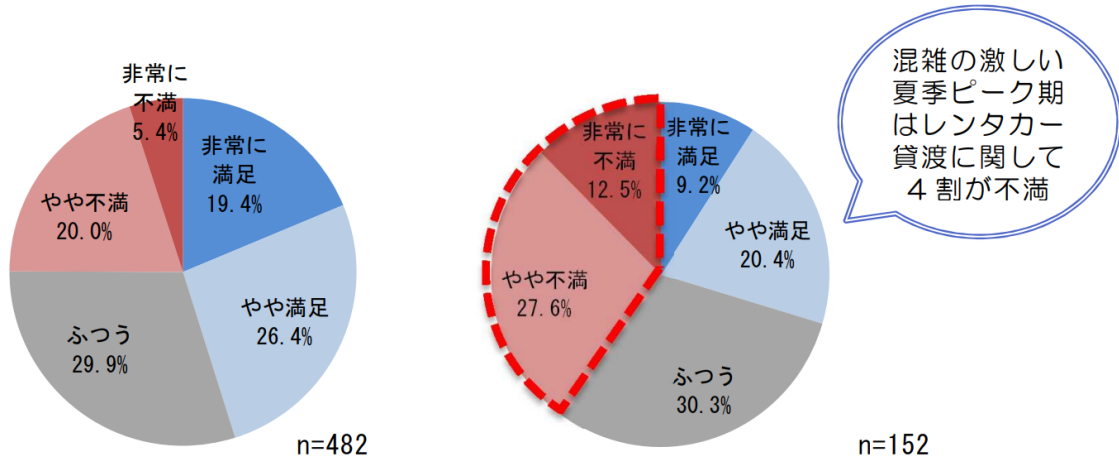
▼平成28年8月21日（日）



出典：沖縄総合事務局「平成29年度那覇空港の接車帯における混雑緩和検討調査業務」（2018）

レンタカーを借りるまでの時間、サービス等についての満足度（H28 調査結果）

<レンタカー貸渡の満足度（夏季全般）>      <レンタカー貸渡の満足度（夏季ピーク期）>

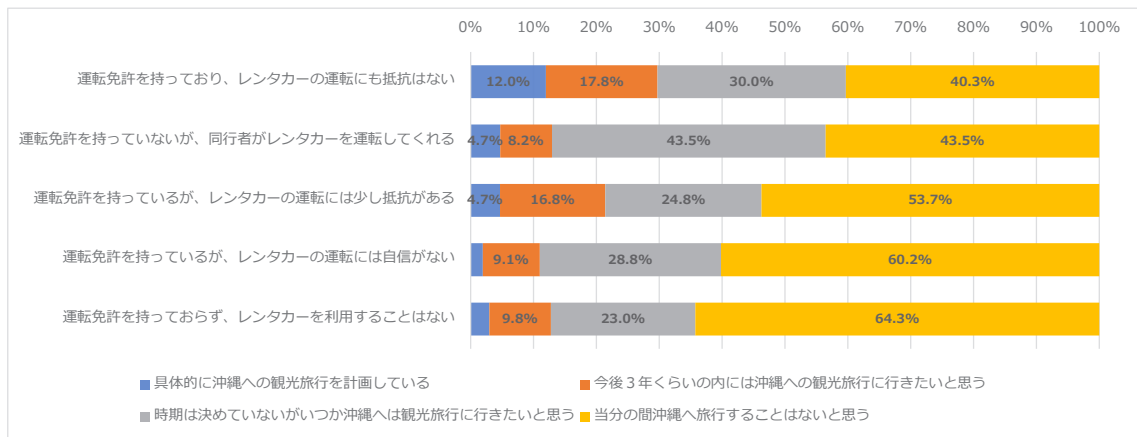


出典：沖縄総合事務局「平成 29 年度那覇空港の接車帯における混雑緩和検討調査業務」（2018）

【運転免許保有・レンタカー利用意向別の沖縄への観光旅行での来訪意向】

沖縄への観光旅行での来訪意向を、運転免許保有・レンタカー利用意向別にみると、「レンタカーの運転に抵抗がない」もしくは「同行者が運転してくれる」場合には来訪意向が高く、「レンタカーの運転に自信がない」もしくは「免許を持っていない」場合には低い傾向がみられた。

運転免許保有・レンタカー利用意向別の沖縄への観光旅行での来訪意向



出典：沖縄振興開発金融公庫「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方に関する調査～これからの“旅行牽引世代”の意向を踏まえた観光（観光地）とは～」

### 【沖縄旅行をしていない理由】

どの世代も、「移動時間が長い」「交通費が高い」を選択した割合が4～5割程度と高くなっている。特にZ世代では「移動時間が長い」の選択率が高い。

「沖縄県内の交通が不便」「レンタカー利用に抵抗がある・運転が苦手」の選択率は、40歳以上に比べ、Z世代とミレニアル世代の旅行牽引世代で高い。旅行牽引世代にとっては、沖縄への移動時間や交通費だけでなく県内での交通の状況についても、沖縄旅行をしていない理由に一定程度なっているものと考えられる。

沖縄旅行をしていない理由（世代別）

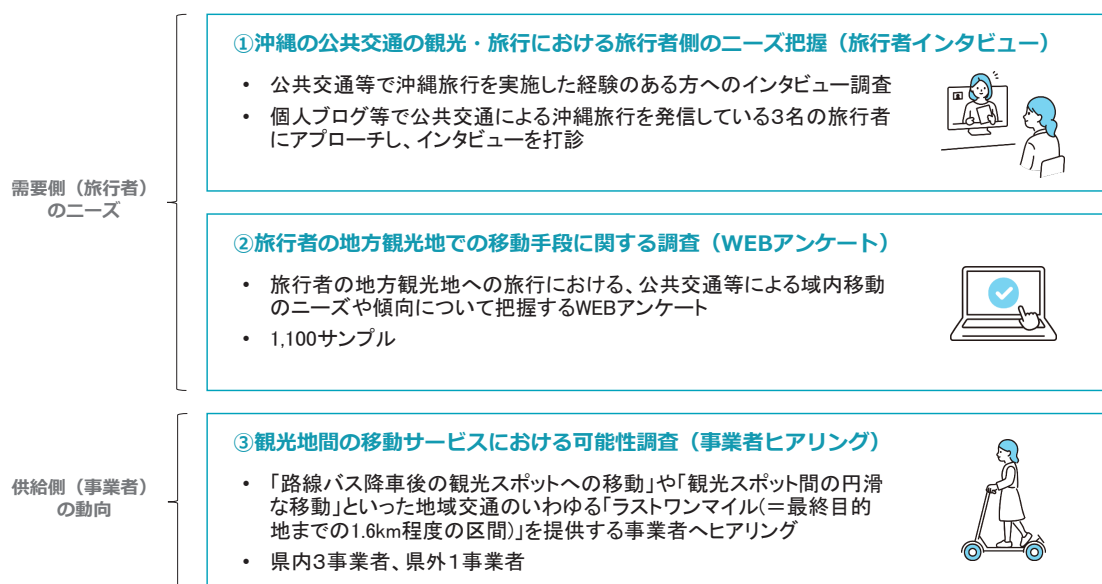
	Z世代 (n=276)	ミレニアル世代 (n=488)	(小計) 旅行牽引世代 (n=764)	40歳以上 (n=574)	合計 (n=1338)
沖縄県までの移動時間が長い	50.0	47.1	48.2	39.9	44.6
沖縄県までの交通費が高い	46.0	43.9	44.6	42.5	43.7
他にいきたい観光地がある	13.8	15.4	14.8	17.8	16.1
沖縄県内の交通が不便	14.5	13.5	13.9	8.5	11.6
仕事などで休暇が取れない	14.9	13.3	13.9	13.8	13.8
台風などが心配だから	9.4	11.3	10.6	9.9	10.3
宿泊料金が高いので	9.8	11.1	10.6	12.2	11.3
レンタカー利用に抵抗がある・運転が苦手	4.7	4.9	4.8	2.1	3.7
行きたい時期に予約がとりづらい	5.1	4.1	4.5	6.4	5.3
家庭の用事や事情で家をあげられない	2.5	2.0	2.2	3.8	2.9
興味のある観光はひととおり行った	1.8	1.6	1.7	4.0	2.7
海外旅行の方が割安だから	1.4	1.8	1.7	3.7	2.5
合計	225.0	219.1	221.2	209.9	216.4

出典：沖縄振興開発金融公庫「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方に関する調査～これからの“旅行牽引世代”の意向を踏まえた観光（観光地）とは～」

## 第4章 ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査

「需要側（旅行者）のニーズ」と「供給側（事業者）の動向」の観点から、以下の3つの調査を実施した。

### 調査の全体像



### 1. 沖縄の公共交通の観光・旅行における旅行者側のニーズ把握（旅行者インタビュー）

#### (1) 調査概要

項目	概要
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近5年以内に公共交通等で沖縄旅行を実施した経験者3名</li> <li>①20代女性・恋人との旅行・ペーパードライバー</li> <li>②30代女性・未就学児2名を含む家族旅行・ペーパードライバー（夫は免許返納）</li> <li>③40代女性・小学生を含む家族旅行・夫婦ともに運転に抵抗はない（レンタカーの予約ができなかったため公共交通を利用）</li> </ul>
対象者の選定方法	個人ブログ等で公共交通による沖縄旅行を発信している旅行者に対し、インタビュー調査を打診
実施時期	2022年10月13日
実施方法	オンラインによるインタビュー調査
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通での移動による沖縄旅行実施の理由</li> <li>公共交通での移動の際に用いたツール</li> <li>公共交通での沖縄旅行の満足度</li> <li>移動における困りごと</li> <li>移動手段に関する情報収集 等</li> </ul>



## (2) 調査結果

	①20代・ 恋人との旅行	②30代・ 未就学児連れ家族旅行	③40代・ 小学生連れ家族旅行
車の運転への抵抗	・あり（ペーパードライバー）	・あり（ペーパードライバー）	・なし（日常的に使用）
直近の沖縄旅行の概要	・2022年7月上旬 3泊4日 ・北部リゾートホテル1か所に滞在	・2021年8月上旬 4泊5日 ・1泊那覇市内、3泊北部リゾート	・2022年7月上旬 3泊4日 ・本部町2泊、恩納村1泊
過去の沖縄旅行経験	・家族と2回、友人と3回。 ・有名な観光地は一通り行った。 ・全て同行者が運転。	・なし	・7,8回 ・リゾート目的で行くので北部のリゾートエリアが多い。 ・全てレンタカーを運転
公共交通での移動による沖縄旅行実施の理由	・運転が苦手だから	・運転しないため	・飛行機とホテルを先に予約し、最後にレンタカーを手配しようとしたら全く空いてなかったため。
移動の際に用いたツール	・エアポートシャトル（空港⇄ホテル） ・それ以外の移動は諦めていた。	・モルレール（空港⇒那覇市内） ・リムジンバス（那覇⇒北部リゾートホテル） ・エアポートシャトル（ホテル⇒空港） ※ホテルから2キロ以内の移動は、ホテルのトゥクトゥクによる送迎サービスを利用	・タクシー（空港⇒那覇港、ホテル⇒本部港） ・高速船（那覇港⇒本部） ・フェリー（本部⇄水納島） ・エアポートシャトル（本部⇒恩納村、恩納村⇒空港）
車なし沖縄旅行の満足度	・車がないと割り切っていたので、満足度は高かった。車があった方が楽しめると思うが、行かない理由にはならない。 ・小さい島であればサイクリングでも回れそうということは調べている。	・沖縄はレンタカーがメインなので、車がない自分たちは仕方ないとハードル下げていたので楽しく過ごせた。 ・ホテルまで往復できればラッキーくらいな気持ちでした。	・車なし前提で行程を作ったので満足度は高かった。
沖縄旅行での移動における困りごと	・飛行機からシャトルバスの乗り継ぎ時間が予測できない、シャトルバスの混雑具合がわからない。事前に時間に余裕を持ってバスを予約したため、結果的に沖縄での滞在時間が短くなってしまい残念だった。 ・ホテル滞在中に不満は無かったが、ホテルの選択肢が狭まってしまった。 ・もっと観光地にも行きたかった。	・ベビーカーやスーツケースをもっていたので、バス停までの移動は大変だった。 ・ホテルから2キロを超える移動はトゥクトゥクサービスを利用できず、ちょっとした移動のときにハードルが高くなってしまった。 ・行けたら楽しそうな観光スポット（美ら海水族館やネオパーク）へのバスなど調べたが、ホテルからの手段が探せなかった。	・車で5分程度の移動について、暑いので徒歩は避けたいが、タクシーを呼ぶほどでもない。自転車がほしいと思った。買い物やカフェに行きたかったが手段がなく行けなかった。 ・ホテルから空港を検索したときに路線バスも出てきたが、乗り場等細かい情報がわからず、エアポートシャトルを使った。
移動手段に関する情報収集	・飛行機とシャトルバスの乗り継ぎや時刻表は、HPを調べて事前予約した。 ・バスを降りたときにホテルの場所がわからなかったが、バスの運転手が親切に教えてくれた。	・インターネットで調べたが、レンタカー前提のブログがほとんどで、レンタカーなしの旅行は那覇市内の情報しかなかったため、ホテルに問い合わせをして、ホテル側から提案があったものを使った。	・事前に調べたのはインターネットとガイドブックだったが、どちらもレンタカー前提だったので、自分でインターネットで移動手段を検索して調べた。
ブログ等でレンタカーを使わない沖縄旅行を発信した理由	・文章を書くのが好きでブログを書いているが、旅行は普段の日常とは違うので、残しておきたい。 ・友人とのクローズドなInstagramでは、沖縄旅行で車を使用しなかったことに対して驚かれることが多かった。	・沖縄に関してはレンタカーブログしか情報がないので使命感で書いた。 ・子連れ旅行に関しては、企業などが書いたものばかりで実際の体験や内容の濃いブログがなかったので、役立つことを発信したかった。	・レンタカーなしでの沖縄旅のブログがなかったので、自分たちが書いたほうがいいと夫に勧めた。 ・ガイドブックもレンタカーが前提だった。
あったら嬉しい交通サービス	・海外のUberのように、運転手の評価がわかるなど、アプリの利便性が上回るのであれば使う。海外では旅行中に使った。	・Uberは海外では使っている。 ・アプリで事前に料金が分かりネット決済できるので便利。渋滞で加算もないので安心感。 ・運転手付きレンタカーサービスも個人的には魅力的。	・ライドシェアサービスは、どんな人が運転手かわからない場合や、事故など何かあったときが心配。目的地（宿泊施設等）と紐づいていたら違和感なく乗れる。

## 2. 旅行者の地方観光地での移動手段に関する調査（WEB アンケート）

### (1) 調査概要

項目	概要
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去5年以内に車を用いない宿泊旅行※を行っており、かつ旅行先での車の運転に抵抗がある・自信がない、運転免許を持っていない全国18歳～49歳の男女</li> <li>調査会社のパネルより抽出</li> </ul> ※旅行先での交通手段として車利用がメインではない都道府県（(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査2021」にて、「レンタカー」と「自家用車」の利用率計が5割未満の都道府県（東京都、神奈川県、京都府、大阪府、奈良県、広島県）への旅行は除いた。
実施時期	2022年11月25日～28日
実施方法	オンライン調査
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去5年以内におこなった車なし旅行での経験</li> <li>旅行先での移動で重視すること</li> <li>沖縄への来訪意向</li> <li>次に沖縄旅行をする際の同行者、使ってみたい移動手段 等</li> </ul>
サンプル数	1,100人

### (2) 調査結果

#### ① 過去5年以内におこなった車なし旅行について

##### 【利用した交通手段 × 同行者】

- 車なし旅行で利用した交通手段として、全体のうち約8割が「列車」を選択（複数回答）
- このうち列車のみを利用した人は46%、列車以外も利用した人は54%
- 同行者別に見ると、『未就学児を含まない家族連れ』と『4人以上の友人』では、列車以外の交通手段を利用した割合が比較的高い。

	夫婦・恋人 n=208	家族（未就学 児含む） n=71	家族（未就学 児含まない） n=225	友人 （2～3人） n=173	友人 （4人以上） n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
列車	78.0%	78.1%	77.3%	83.2%	57.7%	85.1%	55.2%	78.2%
自家用車	6.3%	15.5%	10.7%	2.3%	5.1%	3.2%	0.0%	6.0%
レンタカー	9.1%	9.9%	8.4%	4.6%	10.3%	2.2%	3.4%	6.3%
貸切バス・定期観光バス	7.2%	8.5%	13.3%	6.9%	37.2%	6.6%	24.1%	10.9%
駅や空港からのシャトルバス	11.5%	8.5%	8.9%	9.8%	9.0%	10.1%	3.4%	9.7%
地域内巡回バス	5.8%	5.6%	4.0%	8.1%	1.3%	4.7%	6.9%	5.2%
コミュニティバス	2.4%	4.2%	0.9%	2.3%	3.8%	2.2%	0.0%	2.2%
オンデマンドバス	0.5%	5.6%	1.8%	0.0%	1.3%	1.3%	3.4%	1.4%
路線バス	17.8%	12.7%	15.6%	20.2%	9.0%	25.3%	10.3%	18.7%
タクシー・ハイヤー・その他配車サービス	4.8%	15.5%	11.6%	10.4%	6.4%	5.4%	10.3%	8.2%
ホテルや観光施設の送迎	8.2%	9.9%	4.9%	6.4%	7.7%	2.8%	3.4%	5.6%
観光タクシー	3.8%	7.0%	2.7%	1.2%	2.6%	1.9%	3.4%	2.7%
レンタサイクル	3.8%	4.2%	0.4%	1.7%	3.8%	4.4%	0.0%	2.9%
レンタルの原付・バイク	1.9%	5.6%	1.3%	0.0%	1.3%	0.9%	0.0%	1.4%
レンタルの電動キックボード等	1.4%	5.6%	0.0%	0.0%	1.3%	1.6%	0.0%	1.2%
船（フェリー、観光船等）	2.9%	7.0%	6.2%	5.8%	2.6%	7.9%	0.0%	5.6%
徒歩のみ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.9%	0.0%	3.1%	2.3%	2.6%	5.1%	20.7%	3.5%

	夫婦・恋人 n=208	家族（未就学 児含む） n=71	家族（未就学 児含まない） n=225	友人 （2～3人） n=173	友人 （4人以上） n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
列車のみ利用	46.2%	50.7%	40.9%	48.6%	34.6%	50.6%	31.0%	45.8%
列車以外も利用	53.8%	49.3%	59.1%	51.4%	65.4%	49.4%	69.0%	54.2%

### 【旅行前に交通について情報収集する際の不便 × 同行者】

- 全体として「乗り場情報が見つけにくい」「リアルタイムの混雑・運行状況がわからない」「時刻表が見つけにくい」の選択率が高く、公共交通の基本的な情報に関して、事前の情報収集が困難であることが課題として挙げられる。
- 『未就学児を含む家族連れ』は全体的に選択する項目が多い（困りごとが多い）。

	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
時刻表が見つけにくい	19.2%	22.5%	16.9%	19.7%	19.2%	17.7%	13.8%	18.5%
乗り場情報が見つけにくい	21.2%	26.8%	22.2%	19.1%	9.0%	22.5%	13.8%	20.7%
リアルタイムの混雑・運行状況がわからない	17.8%	32.4%	18.7%	22.5%	24.4%	15.5%	10.3%	19.3%
運行会社によって情報がばらばら	16.3%	18.3%	13.8%	10.4%	9.0%	11.1%	0.0%	12.5%
レンタル自転車等の情報がばらばら	6.7%	9.9%	4.9%	4.6%	5.1%	4.7%	0.0%	5.4%
観光地等が公共交通での行き方を掲載していない	8.7%	15.5%	8.4%	3.5%	9.0%	9.2%	0.0%	8.2%
降車場所からの所要時間がわからない	12.5%	18.3%	12.0%	11.6%	5.1%	10.1%	3.4%	11.2%
降車場所からの移動の快適さがわからない	9.1%	9.9%	11.6%	10.4%	7.7%	5.7%	10.3%	8.8%
周遊する際の移動計画が立てられない	11.1%	11.3%	8.9%	10.4%	7.7%	6.3%	6.9%	8.8%
所要時間や金額の比較ができない	10.6%	16.9%	13.3%	12.1%	7.7%	8.5%	6.9%	10.9%
事前予約や事前決済ができない	1.9%	7.0%	1.8%	2.3%	2.6%	1.9%	0.0%	2.3%
その他	0.5%	1.4%	0.4%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%
不便に感じたことは特になし	41.8%	36.6%	47.1%	42.8%	51.3%	53.2%	65.5%	47.3%

### 【実際に交通を利用した際の不便 × 同行者】

- 全体として、「行きたい観光地への便数が少ない」「一次交通からの乗り継ぎが悪い」「大きい荷物があると利用しづらい」が課題として挙げられる。
- 『未就学児を含む家族連れ』では、「小さい子供がいると利用しづらい」の選択率が最も高く、「宿泊施設から飲食店に行く手段がない」の選択率も他の同行者と比較して高い。

	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
一次交通からの乗り継ぎが悪い	18.3%	18.3%	13.3%	15.0%	15.4%	20.3%	10.3%	16.9%
宿泊施設から飲食店等に行く手段がない	8.2%	22.5%	11.1%	7.5%	5.1%	7.9%	3.4%	9.2%
行きたい観光地への便数が少ない	24.0%	23.9%	20.4%	26.0%	20.5%	24.1%	6.9%	22.9%
行きたい観光地の近くに停留所がない	15.4%	14.1%	10.2%	11.0%	5.1%	13.0%	13.8%	12.1%
時刻表通りの時間に来ない	5.3%	11.3%	8.4%	6.4%	5.1%	7.6%	3.4%	7.1%
移動に関して相談できる相手がいない	6.3%	15.5%	9.3%	6.9%	5.1%	5.4%	3.4%	7.2%
悪天候時の利便性が悪い	10.1%	11.3%	10.2%	8.1%	11.5%	6.3%	3.4%	8.7%
小さい子供がいると利用しづらい	3.4%	29.6%	4.4%	2.3%	2.6%	2.5%	0.0%	4.7%
体の不自由な同行者がいると利用しづらい	5.3%	5.6%	6.2%	2.3%	2.6%	0.6%	0.0%	3.4%
大きい荷物があると利用しづらい	13.5%	23.9%	16.4%	20.8%	21.8%	12.0%	20.7%	16.3%
他人と同乗すること（3密）が気になる	7.2%	12.7%	4.4%	4.0%	9.0%	4.7%	3.4%	5.8%
運転手の態度・マナーが悪い	3.8%	4.2%	3.6%	1.2%	3.8%	2.5%	0.0%	2.9%
カード決済に対応していない	4.3%	7.0%	7.1%	6.9%	9.0%	7.0%	3.4%	6.5%
スマホ決済に対応していない	3.4%	5.6%	6.7%	5.8%	6.4%	7.0%	3.4%	5.8%
交通系アプリのダウンロードが面倒	1.4%	4.2%	1.3%	0.6%	1.3%	1.9%	0.0%	1.5%
その他	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.5%
不便に感じたことは特になし	40.9%	28.2%	41.3%	40.5%	48.7%	45.9%	58.6%	42.5%

### 【交通に関する情報収集源 × 同行者】

- 旅行前、旅行中ともに「Google マップ等の路線検索」は全体的に選択率が高い。
- 「自治体や観光協会等の HP」「旅行会社の HP」は旅行前では選択率が高く、旅行中では低くなる。
- 『未就学児を含む家族連れ』は、他の同行者グループに比べ、旅行前の情報収集源として「自治体や観光協会等の HP」「鉄道・バス・タクシー運行会社の HP」「一般人のブログ記事」の選択率が高い。

		夫婦・恋人	家族(未就学児含む)	家族(未就学児含まない)	友人(2~3人)	友人(4人以上)	ひとり	その他	合計	
		n=208	n=71	n=225	n=173	n=78	n=316	n=29	n=1100	
旅行前の情報収集源	自治体や観光協会等のHP	31.3%	43.7%	24.4%	34.1%	26.9%	29.7%	13.8%	29.9%	
	旅行会社のHP	16.3%	19.7%	18.7%	19.7%	20.5%	13.0%	3.4%	16.5%	
	その地域独自の交通系アプリ	9.1%	9.9%	9.3%	8.1%	11.5%	7.3%	3.4%	8.5%	
	鉄道・バス・タクシー運行会社のHP	25.5%	31.0%	20.9%	17.9%	16.7%	30.4%	27.6%	24.5%	
	宿泊施設のHP	33.7%	21.1%	25.8%	27.2%	23.1%	22.2%	13.8%	25.6%	
	旅行雑誌	12.0%	11.3%	16.4%	11.6%	14.1%	5.7%	0.0%	10.8%	
	Google Maps等の路線検索	37.0%	35.2%	25.3%	41.0%	28.2%	37.7%	10.3%	34.0%	
	一般人のブログ記事	6.7%	16.9%	4.0%	5.2%	2.6%	10.4%	3.4%	7.3%	
	SNS	17.3%	7.0%	12.9%	22.0%	14.1%	11.4%	3.4%	14.2%	
	その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	2.2%	0.0%	0.8%	
	情報収集はしていない	18.8%	18.3%	29.8%	22.5%	26.9%	25.9%	51.7%	25.1%	
	旅行中の情報収集源	自治体や観光協会等のHP	13.0%	22.5%	11.6%	16.8%	16.7%	14.9%	0.0%	14.4%
		旅行会社のHP	5.3%	9.9%	8.4%	7.5%	9.0%	4.4%	3.4%	6.5%
その地域独自の交通系アプリ		6.3%	8.5%	8.4%	4.6%	7.7%	7.0%	6.9%	6.9%	
鉄道・バス・タクシー運行会社のHP		19.7%	25.4%	12.0%	15.6%	11.5%	22.5%	17.2%	18.0%	
宿泊施設のHP		13.5%	9.9%	8.0%	9.2%	9.0%	7.6%	3.4%	9.2%	
旅行雑誌		5.3%	9.9%	11.6%	5.2%	2.6%	4.1%	0.0%	6.2%	
Google Maps等の路線検索		34.6%	38.0%	24.0%	42.2%	34.6%	38.0%	6.9%	34.1%	
一般人のブログ記事		5.8%	2.8%	1.8%	2.3%	1.3%	5.7%	0.0%	3.7%	
SNS		13.5%	9.9%	10.7%	16.8%	12.8%	10.8%	3.4%	12.1%	
その他		0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.3%	2.2%	0.0%	0.8%	
情報収集はしていない		24.5%	19.7%	40.4%	26.6%	34.6%	33.9%	65.5%	32.3%	

### 【交通に関する情報収集源 × 年代】

- 旅行前、旅行中ともに「Google マップ等の路線検索」はどの年代でも選択率が高い。また、年代が高くなるほど利用率が低くなる傾向にあるが、『40代』でも3割は利用。
- 『10代』『20代』では30代以上と比較して「SNS」の選択率も高い。

		年齢(10歳区切り)				合計 n=1100	
		10代 (18~19歳) n=100	20代 n=400	30代 n=400	40代 n=200		
旅行前の情報収集源	自治体や観光協会等のHP	19.0%	30.8%	30.0%	33.5%	29.9%	
	旅行会社のHP	12.0%	16.8%	17.0%	17.5%	16.5%	
	その地域独自の交通系アプリ	6.0%	11.3%	6.5%	8.5%	8.5%	
	鉄道・バス・タクシー運行会社のHP	13.0%	24.0%	24.5%	31.5%	24.5%	
	宿泊施設のHP	18.0%	24.3%	25.3%	33.0%	25.6%	
	旅行雑誌	7.0%	12.3%	9.8%	12.0%	10.8%	
	Google Maps等の路線検索	37.0%	34.5%	34.0%	31.5%	34.0%	
	一般人のブログ記事	8.0%	4.5%	9.0%	9.0%	7.3%	
	SNS	17.0%	20.8%	10.3%	7.5%	14.2%	
	その他	1.0%	0.5%	0.5%	2.0%	0.8%	
	情報収集はしていない	36.0%	24.0%	24.5%	23.0%	25.1%	
	旅行中の情報収集源	自治体や観光協会等のHP	7.0%	16.0%	14.3%	15.0%	14.4%
		旅行会社のHP	4.0%	7.3%	7.8%	4.0%	6.5%
その地域独自の交通系アプリ		6.0%	8.0%	5.5%	8.0%	6.9%	
鉄道・バス・タクシー運行会社のHP		11.0%	16.5%	19.8%	21.0%	18.0%	
宿泊施設のHP		5.0%	9.8%	9.8%	9.0%	9.2%	
旅行雑誌		3.0%	5.5%	6.8%	8.0%	6.2%	
Google Maps等の路線検索		37.0%	36.8%	33.8%	28.0%	34.1%	
一般人のブログ記事		2.0%	3.3%	4.0%	5.0%	3.7%	
SNS		16.0%	16.3%	9.3%	7.5%	12.1%	
その他		2.0%	0.5%	0.3%	2.0%	0.8%	
情報収集はしていない		40.0%	29.0%	32.3%	35.0%	32.3%	

## ② 旅行先の移動や過ごし方に対する考え

### 【旅行先の移動で重視すること（5段階評価） × 同行者】

- 全体として、「安全性」「安価」「快適」「時間通りの運行」の重要度が高い。
- 家族連れの場合「安全性」が重視される。さらに『未就学児を含む家族連れ』の場合は「待ち時間の少なさ」についても重要度が高い。また、『4人以上の友人』『ひとり』の場合「安価」が重視される。

	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
3密回避	3.76	3.76	3.82	3.68	3.62	3.51	3.83	3.68
安全性	4.03	4.11	4.14	4.09	4.04	3.84	4.03	4.01
乗換え無し	3.73	3.87	3.78	3.61	3.71	3.60	3.83	3.69
安価	3.97	3.97	4.02	4.03	4.05	4.07	4.28	4.03
快適	4.04	4.00	4.09	3.91	3.81	3.83	4.17	3.95
時間通り	3.95	3.93	3.95	3.95	3.85	3.94	4.10	3.94
短時間移動	3.64	3.72	3.64	3.68	3.72	3.49	3.69	3.62
待時間少	3.81	3.97	3.86	3.80	3.83	3.72	3.79	3.81
衛生面	3.83	3.79	3.90	3.80	3.97	3.66	3.93	3.80
個室空間	3.19	3.37	3.44	3.27	3.31	3.02	3.45	3.23
大スペース	3.31	3.62	3.48	3.42	3.51	3.16	3.59	3.36
他者運転	3.53	3.62	3.58	3.54	3.49	3.45	3.76	3.53
有意義な情報提供	3.63	3.73	3.57	3.64	3.71	3.38	3.52	3.56
手続きの簡素化	3.72	3.69	3.79	3.77	3.67	3.67	3.76	3.72
有意義に過ごす	3.63	3.68	3.66	3.67	3.62	3.60	3.79	3.64
環境配慮	3.09	2.99	3.17	3.06	3.32	2.93	3.17	3.07
プレミアム感	3.14	3.06	3.22	3.06	3.01	2.84	3.10	3.05
ユニークな仕様	3.05	3.08	3.20	3.06	3.28	2.94	3.10	3.07

※数字は、各項目について、5段階評価（5=とても重視する、1=全く重視しない）した場合の平均である。  
※同行者ごとに、重要度が高い項目を濃いオレンジ色で示している。

### 【旅行中の過ごし方 × 同行者】

- 車なし旅行であっても、「景勝地を見てまわる」「名所を見てまわる」「温泉を楽しむ」といった旅行スタイルが上位を占める一方で、「宿泊先等でのんびり過ごす」も2割存在。
- 同行者別では、「海辺や高原のリゾートでゆったり過ごす」と回答した割合は、『4人以上の友人』と、『未就学児を含む家族連れ』でやや高い。
- 「地域をのんびり散策する」と回答した割合は、『ひとり』で高い。
- 「テーマパーク等を楽しむ」は『ひとり』以外の場合高く、それぞれ2割を超える。

	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
自然や景勝地・自然現象を見てまわる	40.9%	36.6%	45.3%	43.9%	51.3%	44.3%	48.3%	43.9%
歴史や文化的な名所・町並みを見てまわる	32.2%	14.1%	35.1%	27.7%	32.1%	38.0%	20.7%	32.3%
海辺や高原のリゾートでゆったり過ごす	10.6%	18.3%	7.1%	11.0%	19.2%	6.3%	13.8%	9.9%
街や都市で芸術鑑賞やショッピングを楽しむ	15.4%	16.9%	16.9%	15.0%	15.4%	16.1%	13.8%	15.9%
祭りやイベントを楽しむ	8.7%	5.6%	6.2%	12.1%	9.0%	9.2%	17.2%	8.9%
ショッピングや芸術鑑賞を楽しむ	17.3%	14.1%	13.3%	17.9%	16.7%	12.3%	17.2%	14.9%
スポーツ観戦を楽しむ	3.4%	5.6%	2.7%	5.2%	2.6%	5.4%	0.0%	4.1%
テーマパーク等のレジャー施設を楽しむ	22.6%	33.8%	23.1%	20.2%	26.9%	9.8%	20.7%	19.6%
スポーツやアウトドアを1日中楽しむ	1.4%	4.2%	2.7%	2.9%	9.0%	3.5%	0.0%	3.2%
農林漁業体験を楽しむ	1.0%	5.6%	1.3%	1.7%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%
聖地巡礼やロケ地巡りを楽しむ	7.2%	5.6%	6.2%	5.2%	3.8%	6.0%	3.4%	5.9%
宿泊先等でのんびり過ごす	28.4%	18.3%	16.9%	26.6%	16.7%	19.9%	24.1%	21.7%
温泉を楽しむ	35.1%	26.8%	32.0%	27.7%	26.9%	21.2%	13.8%	27.6%
カフェ利用をする	8.2%	2.8%	6.2%	11.0%	5.1%	6.0%	3.4%	6.9%
読書をする	0.5%	0.0%	2.2%	0.6%	1.3%	4.1%	0.0%	1.9%
地域をのんびり散策する	11.1%	8.5%	12.9%	10.4%	12.8%	17.7%	10.3%	13.2%
仕事の時間も含めながら過ごす	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	5.1%	0.9%	0.0%	0.9%
子どもとの時間を楽しむ	1.4%	38.0%	5.3%	0.0%	1.3%	2.5%	0.0%	4.6%
その他	1.4%	0.0%	0.9%	2.3%	1.3%	5.7%	3.4%	2.6%

### ③ 次に沖縄へ旅行する際の意向について

#### 【車での移動が主となる観光地への来訪意向 × 沖縄旅行の同行者】

- 全体として、「レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい」と回答した割合が最も高い。また、「その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい」「徒歩などで行動できる範囲で旅行したい」を合わせると、全体の約 8 割が来訪意向を持っている。
- 同行者別に見ると、『未就学児を含む家族連れ』では「そのような地域は旅行先に選ばない」の選択率が低く、「魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい」の選択率が比較的高い。

	次に沖縄旅行をする際の同行者 (6区分)						合計 n=649
	夫婦・恋人 n=155	家族(未就学 児含む) n=50	家族(未就学 児含まない) n=120	友人 (2~3人) n=142	友人 (4人以上) n=46	ひとり n=136	
その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい	29.7%	40.0%	20.8%	21.1%	28.3%	19.9%	24.8%
レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい	33.5%	48.0%	52.5%	41.5%	41.3%	46.3%	43.1%
徒歩などで行動できる範囲で旅行したい	16.1%	8.0%	11.7%	14.8%	10.9%	19.1%	14.6%
そのような地域は旅行先に選ばない	20.6%	4.0%	15.0%	22.5%	19.6%	14.7%	17.4%

#### 【車での移動が主となる観光地への来訪意向 × 年代】

- 『10代』では、運転免許を持っていない割合が 7 割以上と高く、車での移動が主となる観光地への旅行については、「そのような地域は旅行先に選ばない」の回答が最も多い。
- 20代以上では、「レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい」が最も多い。

	10代 (18~19歳) n=65	20代 n=248	30代 n=221	40代 n=115	合計 n=649
	その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい	24.6%	25.8%	24.4%	23.5%
レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい	29.2%	43.5%	43.9%	48.7%	43.1%
徒歩などで行動できる範囲で旅行したい	3.1%	16.5%	17.2%	12.2%	14.6%
そのような地域は旅行先に選ばない	43.1%	14.1%	14.5%	15.7%	17.4%

	10代 (18~19歳) n=100	20代 n=400	30代 n=400	40代 n=200	合計 n=1100
	運転免許を持っているが、レンタカーの運転には少し抵抗がある	14.0%	30.0%	33.0%	36.0%
運転免許を持っているが、レンタカーの運転には自信がない	13.0%	42.8%	48.0%	45.0%	42.4%
運転免許を持っておらず、レンタカーを利用することはない	73.0%	27.3%	19.0%	19.0%	26.9%

### 【車での移動が主となる観光地への来訪意向 × 沖縄来訪経験】

- 沖縄への来訪経験がある人の方が、「レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい」の選択率が高く、「そのような地域は旅行先に選ばない」の選択率が低い。

	沖縄への来訪経験（居住者除く）		
	訪沖経験あり n=419	訪沖経験なし n=230	合計 n=649
その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい	24.1%	26.1%	24.8%
レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい	46.5%	37.0%	43.1%
徒歩などで行動できる範囲で旅行したい	13.8%	16.1%	14.6%
そのような地域は旅行先に選ばない	15.5%	20.9%	17.4%

### 【沖縄で利用したいラストワンマイル<sup>※1</sup>の手段 × 沖縄旅行の同行者】

- 全体で見ると、「徒歩」の選択率が最も高く、「徒歩」以外では「電動のレンタサイクル」が高い。
- 同行者別では、『未就学児を含む家族連れ』は、「徒歩」の選択率が低く、「観光スポットの巡回バス」「地域のコミュニティバス」「タクシー・ハイヤー」「カーゴバイク」の選択率が比較的高い。特に「カーゴバイク」<sup>※2</sup>は他の同行者と比較して選択率が高い。
- 「タクシー・ハイヤー」は家族連れで比較的选择率が高い。
- 「電動のレンタサイクル」は『夫婦・恋人』と『ひとり』で選択率が比較的高い。

	次に沖縄旅行をする際の同行者（6区分）						
	夫婦・恋人 n=155	家族（未就学児含む） n=50	家族（未就学児含まない） n=120	友人（2～3人） n=142	友人（4人以上） n=46	ひとり n=136	合計 n=649
電動でないレンタサイクル	21.3%	14.0%	21.7%	21.8%	23.9%	30.9%	23.1%
<u>電動のレンタサイクル</u>	43.2%	32.0%	35.8%	36.6%	26.1%	41.2%	37.9%
カーゴバイク <sup>※2</sup>	5.8%	22.0%	9.2%	4.2%	4.3%	6.6%	7.4%
電動カート	10.3%	14.0%	13.3%	7.7%	15.2%	9.6%	10.8%
セグウェイ	11.0%	16.0%	10.8%	10.6%	13.0%	11.8%	11.6%
レンタルの原付・バイク	4.5%	4.0%	7.5%	3.5%	10.9%	5.1%	5.4%
レンタルの電動キックボード	4.5%	6.0%	4.2%	5.6%	15.2%	3.7%	5.4%
観光スポットの巡回バス	36.1%	40.0%	34.2%	33.8%	34.8%	26.5%	33.4%
地域のコミュニティバス	30.3%	34.0%	23.3%	25.4%	26.1%	19.9%	25.7%
トゥクトゥク <sup>※3</sup>	16.1%	20.0%	15.0%	11.3%	15.2%	11.8%	14.2%
タクシー・ハイヤー	24.5%	32.0%	34.2%	25.4%	15.2%	17.6%	25.0%
UberやDiDi等	6.5%	10.0%	9.2%	6.3%	6.5%	6.6%	7.2%
<u>徒歩で移動する</u>	41.3%	32.0%	39.2%	44.4%	39.1%	44.9%	41.4%
その他	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.5%

※1 本調査では、「宿泊地や主要観光地から、徒歩30分程度の移動」をラストワンマイルと定義

※2 大きな荷物や子供を乗せて運搬できる自転車のこと

※3 東南アジア等で多く利用されている三輪自動車のこと

### 【沖縄で利用したいラストワンマイルの手段 × 年代】

- 40代以外では「徒歩」が最も選択率が高く、『40代』は「徒歩」以外の選択率が全体的に高い。
- 「電動のレンタサイクル」はどの年代も選択率が高いが、特に『40代』は5割を超える。
- 年代が上がるにつれ、「タクシー・ハイヤー」や「観光スポットの巡回バス」の選択率が上がる傾向にある。

	年齢（10歳区切り）				
	10代（18～19歳）	20代	30代	40代	合計
	n=100	n=400	n=400	n=200	n=1100
電動でないレンタサイクル	13.8%	23.8%	23.5%	26.1%	23.1%
電動のレンタサイクル	27.7%	37.9%	34.4%	50.4%	37.9%
カーゴバイク	6.2%	7.7%	8.6%	5.2%	7.4%
電動カート	10.8%	9.7%	14.0%	7.0%	10.8%
セグウェイ	10.8%	13.3%	11.3%	8.7%	11.6%
レンタルの原付・バイク	4.6%	6.5%	4.5%	5.2%	5.4%
レンタルの電動キックボード	3.1%	7.7%	5.4%	1.7%	5.4%
観光スポットの巡回バス	21.5%	31.9%	33.0%	44.3%	33.4%
地域のコミュニティバス	12.3%	28.6%	21.7%	34.8%	25.7%
トゥクトゥク	7.7%	14.9%	14.5%	15.7%	14.2%
タクシー・ハイヤー	7.7%	21.8%	28.1%	35.7%	25.0%
UberやDiDi等	4.6%	9.3%	6.8%	5.2%	7.2%
徒歩で移動する	47.7%	44.0%	43.9%	27.8%	41.4%
その他	1.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.5%

### 【沖縄で利用したいラストワンマイルの手段 × 沖縄来訪経験】

- 沖縄への来訪経験がある人は、経験がない人と比較して、「電動のレンタサイクル」「徒歩」の選択率が低い。

	沖縄への来訪経験（居住者除く）		
	訪沖経験あり	訪沖経験なし	合計
	n=590	n=485	n=1075
電動でないレンタサイクル	21.7%	25.7%	23.1%
電動のレンタサイクル	34.1%	44.8%	37.9%
カーゴバイク	9.1%	4.3%	7.4%
電動カート	12.6%	7.4%	10.8%
セグウェイ	11.5%	11.7%	11.6%
レンタルの原付・バイク	5.7%	4.8%	5.4%
レンタルの電動キックボード	5.5%	5.2%	5.4%
観光スポットの巡回バス	33.4%	33.5%	33.4%
地域のコミュニティバス	25.1%	27.0%	25.7%
トゥクトゥク	14.1%	14.3%	14.2%
タクシー・ハイヤー	23.6%	27.4%	25.0%
UberやDiDi等	7.2%	7.4%	7.2%
徒歩で移動する	36.8%	50.0%	41.4%
その他	0.0%	1.3%	0.5%



### 3. 観光地間の移動サービスにおける可能性調査（事業者ヒアリング）

#### (1) 調査概要

項目	概要
調査対象	・ワンマイル交通に関係する、県内 3 事業者及び県外 1 事業者 ①WILLER グループ（AI オンデマンド交通サービス「mobi」の運行）＊沖縄県外 ②沖東交通グループ（タクシー事業）＊沖縄県内 ③株式会社ゴールドストーンブラザーズ（電動キックボード「Rimo」のレンタル・リース）＊沖縄県内 ④沖縄トクトク株式会社（トクトクの販売、メンテナンス）＊沖縄県内
実施時期	2022 年 12 月 16、22、23 日
実施方法	対面式によるヒアリング
調査項目	・事業内容 ・提供サービスの価値 ・沖縄における課題と可能性 等

#### (2) 調査結果

##### 【ワンマイル交通導入の便益】

- ワンマイル交通サービスの導入は、今まで行けなかった場所に行けるという点で、移動の総量を増加させているため、新たな経済効果を生むことに寄与している（WILLER、Rimo）。
- トクトクや電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出せる。また、これらの乗り物はホテルや観光協会、レンタカー事業者等での導入（納品）も増えている（Rimo、沖縄トクトク）。
- マイカーやレンタカーから公共交通への転換は環境に優しいという側面もある。「環境に優しい旅をする沖縄」を打ち出す一環として、車以外の旅行を促進するブランディングは必要であり有効（WILLER、Rimo）。

##### 【需要獲得のための新たな取組】

- タクシー配車アプリは若年層による利用が多い（沖東交通）。
- 直近ではタクシーの相乗りサービスが解禁されており、当社で携わった相乗り実証実験の結果でも概ね旅行者の抵抗感は低く、お得に移動できる手段となっている。配車アプリのデータ活用等も含め、新たな取組によって、利便性を高めるとともに、企業としても収益性を高め、業界の至上命題である「若い世代の運輸業への就業」にもつなげたい（沖東交通）。

##### 【連携による可能性】

- 地域との連携や交通サービス同士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れている（沖東交通、Rimo、沖縄トクトク）。
- mobi のような AI オンデマンド交通は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に寄与するとともに、地域のバス、タクシー事業者の安定収入（収益多角化）につながる（WILLER）。

## 【オンデマンド交通と制度面】

- ◆ mobi は全国 9 都市で展開しているが(2023 年 2 月現在では 11 都市)、道路運送法第 21 条における期間限定の「実証実験」による運行としている (WILLER)。

### コラム ①

#### 電動キックボード「Rimo」／株式会社ゴールドストーンブラザーズ

##### Rimo のサービスの概要

- ◆ 2019 年 10 月に創業した Rimo は、電動キックボード事業として、店舗でのレンタル事業とホテルや観光施設等へのリースを行う FC (フランチャイズ) 事業の 2 つを行っている。店舗でのレンタルは、那覇空港駅前と恩納村の 2 か所で展開されているが、利用者数は右肩上がりであり、多い日では 1 日に 70~80 台ほどの利用がある。また、FC については、沖縄県内では 17~18 箇所で開催しており、FC 施設への電動キックボード車両のリースを行い、利用方法や料金設定等は FC 店舗側で設定する方式としている。

##### 電動キックボードの特性

- ◆ 電動キックボード導入により、地域での移動の総量を増加させる効果がある。これまで行きたいと思っていたが時間や場所の都合で行けなかった場所に、電動キックボードの利用により「空き時間で行くことができた」という利用者の声が多く、即効性と機動力が上がることで、新たな移動ニーズを満たしている。
- ◆ 電動キックボードは走行時に CO2 を排出しない乗り物であるため、環境負荷の側面から、地域としての持続可能な観光地づくりのブランディングに適したサービスとなる可能性を秘めている。

##### 電動キックボードをめぐる規制緩和の動き

- ◆ 電動キックボードは現在 (2023 年 2 月) では原付扱いとなっているところ、2023 年 7 月に道路交通法の改正案が適用され、新たに「特定小型原付」と区分される。これにより、電動キックボードは 16 歳以上であれば運転免許が不要になり、ヘルメット着用が努力義務となる。また、速度に応じて、車道に加え、自転車レーンや路側帯での運転も可能となる。
- ◆ なお、Rimo においては、レンタル時に、安全な利用に関するルールや留意点等を直接利用者に伝えることを重視しており、店舗を伴わないシェアリングサービスではこれが実施できないため、シェアリングサービスを提供していない。



電動キックボード Rimo  
(株式会社ゴールドストーンブラザーズより提供)

トゥクトゥク／沖縄トゥクトゥク株式会社

**沖縄トゥクトゥク株式会社が販売するトゥクトゥクの活用のされ方**

- ◆ 沖縄トゥクトゥク株式会社は 2016 年に創業し、タイから輸入したトゥクトゥクを日本仕様の車両の一部を改修したうえで、日本国内向けに販売。沖縄県内ではホテル等の観光業や飲食店の顧客送迎やレンタカー事業者のレンタル商品としての活用が多い。
- ◆ 県内北部のリゾートホテルでは、ホテルの駐車場－フロント間の送迎や、ホテルから2km 圏内のコンビニ、飲食店、バス停等の送迎といった、宿泊者向けの送迎サービス車両として使用されている。また、離島でのマリンレジャーを楽しむ旅行商品において港とビーチをつなぐ送迎車両としても使用されている。

**トゥクトゥクの特徴**

- ◆ トゥクトゥクは移動手段としてだけでなく、移動そのものを楽しむ乗り物としてのポテンシャルが大きい。同乗者の顔が見えやすい車両構造や、沖縄の海や空とトゥクトゥクの組み合わせの良さ等から、非日常感の演出に繋がっている。また、座席の表面はビニールシートであるため、水着のまま乗りやすいという利点から、沿岸部、離島、リゾートホテルでの活用が特に適していると言える。
- ◆ 車両構造上、乗り降りがやすく、車両によってはベビーカーを畳まずに乗車できる。

**トゥクトゥクの車両としての位置づけ**

- ◆ トゥクトゥクは、車両区分上「側車付き自動二輪車」、つまり、バイクに側車を付随させたサイドカーとしての扱いとなっており、普通自動車免許での運転が可能である。

※自動二輪車免許では運転不可

- ◆ トゥクトゥクは白ナンバー車両であり、有償での運送ができないため、現在は、ホテル等で無料車両として使用されている。バスやタクシーを使うほどではないワンマイル移動のニーズを満たす移動手段として、例えば、トゥクトゥクをはじめとする沖縄の景観に合った、子連れ移動のニーズを満たすことができる白ナンバー車両を有償で運行する特区制度や実証実験を行うことは、観光客の利便性向上に寄与すると考えられる。



トゥクトゥク

(沖縄トゥクトゥク株式会社より提供)

AI オンデマンド交通「mobi」／Community Mobility 株式会社

**mobi のサービスの概要**

- ◆ WILLER が 2021 年より運営を開始した AI オンデマンド交通「mobi」は、2022 年 4 月より Community Mobility(WILLER 株式会社と KDDI 株式会社が設立した合併会社)が提供しており、半径約 2-3km 程度のエリア内で、行きたい時に行きたい場所まで自由に移動することができる、スマートフォンアプリを用いた相乗りによるオンデマンドサービスである。
- ◆ 通常、相乗りによるオンデマンド交通は、相乗りをすればするほど目的地への到着時間がずれていき利便性が低下することが課題となる。しかし、mobi はエリア内に概ね 200m ごとに架空の乗降場所(バス停のようなイメージ)を設定していることや、相乗りの発生により到着予定時間が一定以上遅れる場合は、AI の自動計算によりマッチングしない仕組みとしていることにより、到着時間の大幅なずれを発生させないよう工夫している。

**地域で mobi を導入することの便益**

- ◆ mobi のサービスは、WILLER がノウハウやアプリサービスを提供し、地元事業者(バス、タクシー、ハイヤー)が運行を担うため、利用者の利便性向上に寄与するとともに、地域の交通事業者の収益多角化につながるビジネスモデルとなっている。
- ◆ 移動支援は「福祉」「交通」「観光」等、各分野においてそれぞれが対応しているが、mobi は様々な移動ニーズを集約し、効率的で一気通貫した「地域政策」としての効果を発揮する可能性がある。

**mobi 導入の現状**

- ◆ 2023 年 2 月現在では、全国 11 都市にて展開。いずれも道路運送法第 21 条による「実証実験」による運行となっている。



## 第5章 まとめ

### 1. 沖縄観光の二次交通の現状と課題

#### ■ 「沖縄は車なしでは楽しめない」といったイメージが定着し、車を利用しない沖縄旅行の経験の共有（発信）も不足

- ・ 旅行の計画時における、車を使用しない便利な県内移動情報が不足（旅行者インタビュー）
- ・ 特に子連れの車なし旅行について、旅行者の実体験に基づく情報が得られない（旅行者インタビュー）
- ・ 沖縄旅行は、車がないと周遊が楽しめないというイメージが定着（旅行者インタビュー）
- ・ 車なしの旅行でも、事前に計画を立てていれば、相応の満足感を得られる（旅行者インタビュー）
- ・ 沖縄のような、車での移動が主となる観光地であっても、「車以外の交通手段で旅行ができる」、あるいは「その地域に魅力が感じられれば」車の運転に抵抗がある人や免許を持っていない人にも旅行先として選ばれる（WEB アンケート）

#### ■ 機動的なラストワンマイル手段の不足により、行きたい場所に行けなかった旅行者も存在

- ・ 徒歩 20～30 分程度の距離の観光スポットまで、機動的なラストワンマイル手段がないため、訪問を断念した（旅行者インタビュー）
- ・ 未就学児を含む家族連れは、他の同行者グループに比べ、旅行先での車を使わない移動に関して不便を感じる場面が多い（WEB アンケート）（事業者ヒアリング）
- ・ ワンマイル交通サービスの導入は移動の総量を増加させる（従来は行くことができなかった観光スポットや店舗に行くことができる）
- ・ トックトックや電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出すことが可能（ただし、雨天時は使用が難しい）（事業者ヒアリング）
- ・ 沖縄で利用したいラストワンマイルの移動手段としては、電動のレンタサイクルが最も多い（WEB アンケート）
- ・ 未就学児を含む家族連れは利用したいワンマイル交通として、他の同行者と比べ、特にカーゴバイクを選択する割合が高い（WEB アンケート）

#### ■ 旅行者は旅行先での移動において「安全」「安心」「快適」「定時制」を重視

- ・ 旅行先の移動で重視することは、「安全」「安心」「快適」「定時制」（WEB アンケート）
- ・ 情報収集時では、「乗り場情報」「時刻表」「リアルタイム運行状況」といった公共交通の基本的な情報が見つけにくいことが課題（WEB アンケート）

- ・ タクシー配車アプリは運転手や到着時間等が可視化される安心感もあり若年層の利用が多い（事業者ヒアリング）
- ・ 配車アプリによるデータ活用や相乗りサービス等、新たな取組によって利用者の利便性を高めるとともに、企業としても収益性を高め、若い世代の運輸業への就業にもつなげたい（事業者ヒアリング）

#### ■ 地域×交通事業者や交通事業者間のコラボの可能性

- ・ 地域との連携や交通サービス同士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れている（事業者ヒアリング）
- ・ 自由経路型の AI オンデマンド交通は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に加え、地元の交通事業者の収入安定に寄与（事業者ヒアリング）

#### ■ 現行制度の柔軟な運用により、旅行者や地元事業者に便益

- ・ AI オンデマンド交通の mobi は、全国 11 都市で展開しているが(2023 年 2 月現在)、道路運送法第 21 条における期間限定の「実証実験」による運行にとどまっている（事業者ヒアリング）
- ・ Uber のような運転手の顔が見えるライドシェアサービスは、旅行者に一定の魅力がある（旅行者インタビュー）

## 2. 現状と課題を踏まえた沖縄観光に対する提言

これまで述べた現状と課題を踏まえ、沖縄観光に対する提言として、以下の5つに整理した。

### 提言1 「レンタカーを使わない沖縄旅行」の“実体験”情報も交えた発信強化による旅行者マインドの転換

現在、沖縄観光コンベンションビューロー等にて実施されている、公共交通を利用したモデルコースの発信といった「地域側」の情報提供にとどまらず、レンタカーを使わずに実際に旅行をした人々による、公共交通での移動の便利さや不便さも含めた「リアルな沖縄旅」の発信を推進することが求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 旅行者ブログ、SNS 投稿の推進
- 「小さな子連れで旅をできるか」「旅行前の情報収集方法」「悪天候時の沖縄体験」「渋滞の時間帯」「交通サービスの決済方法」等、旅行者のリアルな旅の報告を発信

#### ▼課題への対応に適している同行者・旅行スタイル・エリア

同行者：すべて

旅行スタイル：すべて

エリア：すべて

### 提言2 “沖縄にマッチした”環境に優しい”ラストワンマイルに資する交通サービスの充実

既存の公共交通に加えて、旅行中のちょっとした空き時間に利用できるような、自由度の高い移動ができる「機動力の高い」移動サービスの充実による周遊促進が求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 観光地や観光施設、宿泊施設等での電動レンタサイクル、電動キックボード等の整備

#### ▼課題への対応に適している同行者・旅行スタイル・エリア

同行者：ペア/友人、ひとり旅

旅行スタイル：観光地巡り

エリア：地方部/離島

未就学児を含む家族連れ旅行者は、ベビーカーの扱いや置き所、荷物の多さ、子供の泣き声といった他者への配慮等様々な事項を考慮する必要があると考えられ、他の同行者に比べ、移動に関して不便を感じる場面が多く、このような層が快適に移動を行うことができる対応が必要となる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 未就学児を載せての移動が容易なカーゴバイク等の移動サービス整備

#### ▼課題への対応に適している同行者・旅行スタイル・エリア

同行者：子連れ家族

旅行スタイル：リゾートステイ

エリア：地方部/離島

沖縄は他の観光地に比べ、炎天や突然の雨が多い等、特有の気候を持つ地域であるが、このような天気となった際への対応が必要となる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- オンデマンド交通（mobi 等）等、天候に左右されにくい移動手段の整備

▼課題への対応に適している**同行者・旅行スタイル・エリア**

同行者：子連れ家族

旅行スタイル：観光地巡り、リゾートステイ

エリア：すべて

沖縄は海や綺麗な景色を楽しみながら移動できる環境であり、これを楽しみやすい移動手段を導入することにより、沖縄ならではの、移動そのものの楽しさが魅力となる可能性があるため、このような機会を提供することが求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- トウトウトク等、沖縄の海や景色を楽しみながら移動することができる移動サービスの整備

▼課題への対応に適している**同行者・旅行スタイル・エリア**

同行者：子連れ家族

旅行スタイル：リゾートステイ

エリア：地方部/離島

### 提言3 快適な移動を担保するインフラ整備

路線バスやリムジンバス、自転車等の利用は、車やレンタカーでの移動と同様に道路を使用するが、「バスが時刻表通りに到着すること」や「危険性の少ない自転車等の移動」を行う等、車以外の移動手段にとって利用しやすい道路整備を行うことが求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- バス専用レーンの整備による、路線バス等の公共交通の定時運行への貢献
- 自転車専用レーンの整備による、快適な自転車や電動キックボードの走行空間の創出

▼課題への対応に適している**同行者・旅行スタイル・エリア**

同行者：すべて

旅行スタイル：すべて

エリア：すべて

車なしの移動を行う際、スポット間の移動時間やかかる料金がわからないことにより、周遊を断念するケースが考えられるため、予め移動の所要時間や料金イメージを提示する取組が求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 自転車等を用いた際の主要スポット間の移動時間マップの製作
- 事前に配車や料金イメージの把握が可能な、タクシー配車アプリの推進

▼課題への対応に適している**同行者・旅行スタイル・エリア**

同行者：すべて

旅行スタイル：すべて

エリア：すべて



行政や事業者等において、乗り場情報や時刻表、リアルタイムな運行情報等、公共交通に関する情報が様々な媒体によって提供されている。これを Google マップ等への集約やデータ連携により交通情報を一元化し、利用者の利便性を向上させる必要がある。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 「乗り場情報」「時刻表」「リアルタイム運行状況」といった公共交通の基本情報について、集約・連携による利便性の向上。さらにはタクシーやレンタサイクル等あらゆる二次交通情報の一元化。

#### ▼課題への対応に適している同行者・旅行スタイル・エリア

同行者：すべて

旅行スタイル：すべて

エリア：すべて

安心で快適な移動のためには、移動中のみならず、「待ち時間」も重要な要素となる。特にバス停については、炎天や雨天への配慮や情報提供のあり方に課題があるため、バス停の刷新を行う必要がある。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 屋根・ベンチの設置（炎天・雨天対応）
- バス停 DX（運行情報、ホテル・観光地案内）

#### ▼課題への対応に適している同行者・旅行スタイル・エリア

同行者：すべて

旅行スタイル：すべて

エリア：すべて

### 提言 4 地域や事業者間連携による最適化

地域（自治体、観光協会等）と交通事業者との連携や、交通事業者間の連携により、目的地までの移動手段や体験の予約、検索の簡略化等、利用者ニーズに沿ったサービスをワンストップで提供することが可能となる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 地域と交通事業者が連携した、体験や宿泊、移動サービス等の提供

※なお、国等の補助金を前提にした無料循環送迎等の実施は、既存の交通手段（バスなど）への需要を減らす可能性があるため、既存の交通事業者や利用者、地域が win-win の関係となる、持続可能な取組とする工夫が求められる。

- タクシー×電動キックボード、船×電動レンタサイクル等のセット商品の提供

- AI オンデマンド交通（mobi 等）の地域政策としての導入

※例えば、行政では「老人福祉」「子育て」「交通」「観光」それぞれの部門でタクシーチケットやバス運賃無料支援、循環バスの運行等が行われているが、これらを一気通貫で対応できるオンデマンド交通等を地域政策として導入することにより、行政コストを削減することが可能であると考えられる。

## 提言5 制度面における検討

様々な技術革新等により、民間企業等では、便利で効率的なオンデマンド交通技術が提供されている。地域の理解を得る必要はあるものの、このようなサービスの導入により、利用者の利便性や柔軟性が高まることが期待される。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- オンデマンド交通の更なる展開

観光客にとって周遊の魅力があるもののタクシー等が少ない地域においては、他県の事例も参考にライドシェアサービスの実用に向けた検討を進めることが求められる。

例えば、以下のような取組が考えられる。

- 海外での uber サービスのような、地域住民等が観光客を乗せて運行できるようなライドシェアサービスの試験的な実施

### 3. 「沖縄観光の二次交通の現状と課題」と「沖縄観光に対する提言」の対応

課題への対応に適している  
**同行者・旅行スタイル・エリア**

**提言骨子**

<p><b>1. 「レンタカーを使わない沖縄旅行」の“実体験”情報も交えた発信強化による旅行者マインドの転換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ レンタカーを使わない沖縄旅行の、便利さや不便さも含めた、「実体験」の発信を推進</li> <li>• SNS投稿推進、リアルな旅の報告の発信 等</li> </ul>	<p><b>2. “沖縄にマッチした”“環境に優しい”ラストワンマイル交通サービスの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 機動力の高い移動サービスの充実による周遊促進</li> <li>• 電動レンタサイクル、電動キックボード 等</li> <li>✓ 未就学児を含む家族連れへの対応</li> <li>• カーゴバイク 等</li> <li>✓ 沖縄特有の天気（雨天の多さ、炎天）への対応</li> <li>• オンデマンド交通（mobli等）</li> <li>✓ 沖縄ならではの、移動そのものの楽しさの提供</li> <li>• トウクトウ</li> </ul>	<p><b>3. 快適な移動を担保するインフラ整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 車以外の移動に優しい道路整備</li> <li>• バス専用レーン、自転車専用レーン</li> <li>✓ 車なし移動の所要時間や料金イメージの提示</li> <li>• 主要スポット間の移動時間マップ、配車アプリ推進</li> <li>✓ 交通情報の集約・連携（Googleマップ等）</li> <li>• バス位置情報の可視化、タクシーやレンタサイクル等あらゆる二次交通情報の一元化</li> <li>✓ バス停の刷新</li> <li>• 屋根・ハンナの設置（炎天・雨天対応）、バス停DX（運行情報、ホテル・観光地案内）</li> </ul>	<p><b>4. 地域や事業者間連携による最適化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 交通事業者間連携、地域×交通事業者連携</li> <li>• 地域×交通事業者連携商品、タクシー×電動キックボード商品、AIオンデマンド交通導入</li> </ul>	<p><b>5. 制度面における検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利便性や柔軟性の高いオンデマンド交通の導入</li> <li>• オンデマンド交通の更なる展開</li> <li>✓ タクシー等の少ない地域におけるライドシェアサービスの実用に向けた検討</li> <li>• ライドシェアサービスの試験的な実施</li> </ul>
---	---	---	---	---

**調査結果**

<p>■「沖縄は車なしでは楽しめない」といったイメージが定着し、車を利用しない沖縄旅行の経験の共有（発信）も不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行の計画時における、車を使用しない便利な県内移動情報が不足</li> <li>● 特に子連れの車なし旅行について、旅行者の実体験に基づく情報が得られない</li> <li>● 沖縄旅行は、車がないと周遊が楽しめないというイメージが定着</li> <li>● 車なしの旅行でも、事前に計画を立てていけば、相応の満足感を得られる</li> <li>● 沖縄のような、車での移動が主となる観光地であっても、「車以外の交通手段で旅行ができる」、あるいは「その地域に魅力が感じられれば」車の運転に抵抗がある人や免許を持っていない人にも旅行先として選ばれる</li> </ul>	<p>■機動的なラストワンマイル手段の不足により、行きたい場所に行けなかった旅行者も存在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩20～30分程度の距離の観光スポットについて、機動的なラストワンマイル手段がないため、訪問を断念した</li> <li>● 未就学児を含む家族連れは、他の同行者グループに比べ、旅行先での車を使わない移動に関して不便を感じる場面が多い</li> <li>● ワンマイル交通サービスの導入は移動の総量を増加させる（今まで行けなかった場所に行ける）</li> <li>● トウクトウや電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出すことが可能（ただし、雨天・荒天時は使用が難しい）</li> <li>● 沖縄で利用したいラストワンマイルの移動手段としては、電動のレンタサイクルが最も多い</li> <li>● 未就学児を含む家族連れは利用したいワンマイル交通として、他の同行者と比べ、特に「カーゴバイク」を選択する割合が高い</li> </ul>	<p>■旅行者は旅行先での移動において「安全」「安心」「快適」「定時制」を重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行先の移動で重視することは、「安全」「安心」「快適」「定時制」</li> <li>● 情報収集時では、「乗り場情報」「時刻表」「リアルタイム運行状況」といった公共交通の基本的な情報が目につけにくいことが課題</li> <li>● タクシー配車アプリは、運転手や到着時間等が可視化される安心感もあり若年層の利用が多い</li> <li>● 配車アプリによるデータ活用や相乗りサービス等、新たな取組によって、利用者の利便性を高めることともに、企業としても収益性を高め、若い世代の運輸業への就業にもつなげたい</li> </ul>	<p>■地域×交通事業者や交通事業者間のコラボに可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域との連携や交通サービス向士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れていく</li> <li>● AIオンデマンド交通は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に加えて地元交通事業者の収入安定に寄与</li> </ul>	<p>■現行制度の柔軟な運用により、旅行者や地元事業者に便益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AIオンデマンド交通のmobliは、全国11都市で展開しているが(2023年2月現在)、道路運送法第21条における期間限定の「実証実験」による運行にとどまっている</li> <li>● Uberのような運転手の顔が見えるライドシェアサービスは、旅行者に一定の魅力がある</li> </ul>
--	--	--	--	---



**【参考資料】WEB アンケート 設問**

**SC1**

あなたの性別をお答えください。

- 1  男性  
2  女性

**SC2**

あなたの年齢をお答えください。

歳

**SC3**

あなたの居住都道府県をお答えください。

**SC4**

あなたは過去5年間に、1泊以上の観光旅行(業務旅行、帰省、修学旅行以外の旅行)を行いましたか。

- 1  過去5年間に、1泊以上の観光旅行に行った  
2  過去5年間に、1泊以上の観光旅行に行っていない

**SC5**

過去5年間で、1泊以上の観光旅行を行った時期をお答えください。  
複数ある場合は、直近に行った旅行についてお答えください。

年  月頃

**SC6**

旅行先の都道府県をお答えください。  
複数ある場合は、直近に行った旅行についてお答えください。  
複数の都道府県にまたがる場合は、主な滞在地についてお答えください。

**SC7**

そのときの旅行先で使った主な移動手段は何ですか？(いくつでも)  
※飛行機、新幹線、鉄道等の居住地から旅行先までの交通は除きます。

- 1  列車(鉄道・地下鉄・路面電車・モノレールなど)  
2  自家用車  
3  レンタカー  
4  貸切バス・定期観光バス  
5  駅や空港からのシャトルバス  
6  地域内巡回バス  
7  コミュニティバス  
8  オンデマンドバス  
9  路線バス  
10  タクシー・ハイヤー・その他配車サービス  
11  ホテルや観光施設の送迎  
12  観光タクシー  
13  レンタサイクル  
14  レンタルの原付・バイク  
15  レンタルの電動キックボード等  
16  船(フェリー、観光船など)  
17  徒歩のみ  
18  その他

SC8

旅行に行かれる際のレンタカー利用について当てはまるものをお答えください。

- 1  運転免許を持っており、レンタカーの運転にも抵抗はない
- 2  運転免許を持っているが、レンタカーの運転には少し抵抗がある
- 3  運転免許を持っているが、レンタカーの運転には自信がない
- 4  運転免許を持っていないが、同行者がレンタカーを運転してくれる
- 5  運転免許を持っておらず、レンタカーを利用することはない

SC9

あなたまたは同居者の職業であてはまるものを全てお知らせください。(いくつでも)

- 1  旅行業(旅行代理店など)
- 2  マスコミ関連業
- 3  出版・印刷関連
- 4  調査・広告代理・マーケティング関連業
- 5  あてはまるものはない

SC4～8で回答した、自家用車以外の交通手段を使った直近に行った観光旅行についてお聞きします。

Q1

その旅行での同行者をお知らせください。

- 1  夫婦
- 2  子ども連れ家族(末子が未就学児)
- 3  子ども連れ家族(末子が小中学生)
- 4  子ども連れ家族(末子が高校生以上)
- 5  その他家族で(三世代、親族など)
- 6  友人・知人(自分含めて2～3人で)
- 7  友人・知人(自分含めて4～5人で)
- 8  友人・知人(自分含めて6人以上で)
- 9  恋人
- 10  サークル等の団体旅行
- 11  ひとりで
- 12  その他

Q2

その旅行先で、観光資源等(※)までの交通手段について情報収集をする際に不便を感じたことはありませんか。(いくつでも)

※「観光資源等」とは、観光施設、観光スポット、飲食店、宿泊施設等を指します。

- 1  公共交通の時刻表の情報が見つけにくい
- 2  公共交通の乗り場の情報が見つけにくい
- 3  リアルタイムの混雑状況や運行状況がわからない
- 4  バスやタクシーなどの運行会社によって情報がばらばらでまとまっていない
- 5  レンタルの自転車やバイク等に関するまとまった情報がない
- 6  行きたい観光地や飲食店が公共交通での行き方を掲載していない
- 7  降車場所から観光資源までの所要時間がわからない
- 8  降車場所から観光資源までの移動の快適さ(坂や歩道の有無等)がわからない
- 9  複数の観光資源を周遊する際の最適な移動計画(それぞれの移動手段と時間の組み合わせ)が立てられない
- 10  移動手段の選択肢がいくつかある場合に、時間や金額の比較ができない
- 11  事前予約や事前決済ができない
- 12  その他
- 13  不便に感じたことは特にない



Q3

その旅行先で公共交通を実際に利用する際に、不便を感じたことはありませんか。  
(いくつでも)

- 1  一次交通(飛行機、新幹線、鉄道等の居住地から旅行先までの交通)からの乗り継ぎが悪い
- 2  宿泊施設から近くの飲食店や売店に行く手段がない(宿泊施設から出られない)
- 3  行きたい観光地への便数が少ない
- 4  行きたい観光地の近くに停留所がない
- 5  時刻表通りの時間に来ない
- 6  移動に関して相談できる相手(案内所等)がない
- 7  悪天候時の利便性が悪い
- 8  小さい子供がいると利用しづらい
- 9  高齢者や体の不自由な同行者がいると利用しづらい
- 10  大きい荷物があると利用しづらい
- 11  他人と同乗すること(3密)が気になる
- 12  運転手の態度・マナーが悪くて不快な思いをした
- 13  カード決済機能(クレジットカード決済、Suica等の電子マネーなど)に対応していない
- 14  スマートフォン決済機能(PayPayや楽天ペイ、LinePay等)に対応していない
- 15  地域独自の交通系アプリのダウンロードが面倒
- 16  その他
- 17  不便に感じたことは特にない

Q4

その旅行先での交通手段について、旅行前と旅行中それぞれで、どのような媒体から情報収集をしましたか。(それぞれいくつでも)

	1	2
	旅行前	旅行中
旅行先の自治体や観光協会等のHP	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
旅行会社のHP	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
その地域独自の交通系アプリ	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>
鉄道・バス・タクシー運行会社のHP	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
宿泊施設のHP	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
旅行雑誌	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
Google Maps、Yahoo!等の路線検索	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
一般人のブログ記事	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
Twitter、Facebook、Instagram等のSNS	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
その他	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
情報収集はしていない	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>

**Q5**

その旅行について、次の項目の満足度をそれぞれお知らせください。  
(それぞれひとつずつ)

	大満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
1 旅行全体	10	20	30	40	50
2 宿泊	10	20	30	40	50
3 飲食	10	20	30	40	50
4 目的地までの移動	10	20	30	40	50
5 目的地内での移動	10	20	30	40	50
6 買い物(土産品含む)	10	20	30	40	50



あなたの旅行全般に対する考え方についてお聞きします。

**Q6**

あなたの旅行先での過ごし方として、当てはまるものをお選びください。(3つまで)

- 1  自然や景勝地・自然現象を見まわる
- 2  歴史や文化的な名所・町並みを見まわる
- 3  海辺や高原のリゾートでゆったりと過ごす
- 4  街や都市で芸術鑑賞やショッピングを楽しむ
- 5  祭りやイベントを楽しむ
- 6  ショッピングや芸術鑑賞を楽しむ
- 7  スポーツ観戦を楽しむ
- 8  テーマパークや動物園・植物園、水族館等のレジャー施設を楽しむ
- 9  スポーツやアウトドアを1日中楽しむ
- 10  農山漁村に滞在し農林漁業やふるさと体験を楽しむ
- 11  聖地巡礼やロケ地巡りを楽しむ
- 12  宿泊先等で、のんびり、ゆったりとした時間を過ごす
- 13  温泉を楽しむ
- 14  カフェ利用をする
- 15  読書をする
- 16  地域をのんびり散歩する
- 17  一部仕事時間も入れながら過ごす
- 18  子どもとの時間を楽しむ
- 19  その他

Q7

旅行先の移動について、次の項目をどれくらい重視しますか。(それぞれひとつずつ)

重視する  
少し重視する  
どちらともいえない  
あまり重視しない  
重視しない



- |   |  |   |                       |   |                       |   |                       |   |                       |   |                       |
|---|--|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 3密回避:3密(密閉・密接・密集を)を避けて移動したい            | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 2 | 安全性:安全性高く移動したい                         | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 3 | 乗換え無し:一つの移動手段で目的地まで移動したい               | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 4 | 安価:移動料金が安い                             | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 5 | 快適:ゆったりと座って快適に移動したい                    | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 6 | 時間通り:時間通りに出発/到着してほしい                   | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 7 | 短時間移動:移動手段(クルマ、バス等)のスピードが速く、短時間で移動したい  | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 8 | 待時間少:乗り換えや乗車に係る待ち時間なく、なるべく待ち時間少なく移動したい | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 9 | 衛生面:衛生面に配慮して移動したい                      | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |

重視する  
少し重視する  
どちらともいえない  
あまり重視しない  
重視しない



重視する  
少し重視する  
どちらともいえない  
あまり重視しない  
重視しない



- |    |   |   |                       |   |                       |   |                       |   |                       |   |                       |
|----|---|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 10 | 個室空間:人の目を気にしない個室空間で移動したい(レンタカー、自家用車等)             | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 11 | 大スペース:大人数/大きな荷物を楽に運んで移動したい                        | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 12 | 他者に運転:疲労時などは他者に運転してもらい楽に移動したい                     | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 13 | 有意義な情報提供:移動中におススメスポットなど、目的に合った有意義な情報を提供してほしい      | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 14 | 手続きの簡素化:乗降車に係る手続き(予約・決済、駐車など)を楽に利用したい             | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 15 | 有意義に過ごす:道中有意義に時間を過ごし移動したい(学習・自己研修、睡眠、娯楽等)         | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 16 | 環境配慮:脱炭素やカーボンニュートラル等を意識したエコカルな手段(環境に配慮した手段)で移動したい | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 17 | プレミアム感:プレミアム感を感じながら移動したい                          | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |
| 18 | ユニークな仕様・デザイン:普段と違う仕様・デザインを楽しみながら移動したい             | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> | 3 | <input type="radio"/> | 4 | <input type="radio"/> | 5 | <input type="radio"/> |

重視する  
少し重視する  
どちらともいえない  
あまり重視しない  
重視しない



沖縄県への旅行についてお聞きします。

Q8

あなたはこれまでに沖縄県を訪れたことはありますか。(いくつでも)

- 1  観光目的の旅行で沖縄県を訪れたことがある
- 2  修学旅行で沖縄県を訪れたことがある
- 3  出張で沖縄県を訪れたことがある
- 4  部活の大会や合宿で沖縄県を訪れたことがある
- 5  沖縄に住んでいる/過去に住んでいたことがある
- 6  沖縄県を訪れたことはない

Q9

あなたは沖縄に観光目的で旅行したいと思いますか。  
あてはまるものをお選びください。

- 1  具体的に沖縄への観光旅行を計画している
- 2  今後3年くらいの内には沖縄への観光旅行に行きたいと思う
- 3  時期は決めていないがいつか沖縄へは観光旅行に行きたいと思う
- 4  当分の間沖縄へ旅行することはないと思う

Q10

あなたが沖縄へ行かない理由はなんですか。(いくつでも)

- 1  沖縄県までの移動時間が長い
- 2  沖縄県までの交通費が高い
- 3  沖縄県内の交通が不便
- 4  レンタカー利用に抵抗がある・運転が苦手
- 5  宿泊料金が高いので
- 6  興味のある観光はひととおり行った
- 7  台風などが心配だから
- 8  他に行きたい観光地がある
- 9  海外旅行の方が割安だから
- 10  仕事などで休暇が取れない
- 11  家庭の用事や事情で家をあけられない
- 12  行きたい時期に予約がとりづらい
- 13  その他

### Q11

沖縄県は、旅行者の6割がレンタカーを利用する等、これまで車ででの移動が主となる観光地でした。  
このような地域へ旅行することに對するあなたの考えに近いのは次のうちどれですか。

- 1  運転に自信がないが、その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい
- 2  運転には自信がないため、レンタカーや自家用車以外の交通手段で、周遊・滞在ができそうであれば旅行したい
- 3  運転には自信がないため、徒歩などで行動できる範囲で旅行したい
- 4  運転ができないう/自信がないので、そのような地域は旅行先には選ばない

### Q12

あなたが次に沖縄旅行をすとしたら、誰と一緒に行く可能性が高いですか。

- 1  夫婦
- 2  子ども連れ家族(末子が未就学児)
- 3  子ども連れ家族(末子が小中学生)
- 4  子ども連れ家族(末子が高校生以上)
- 5  その他家族(三世代、親族など)
- 6  友人・知人(自分含めて2~3人で)
- 7  友人・知人(自分含めて4~5人で)
- 8  友人・知人(自分含めて6人以上で)
- 9  恋人
- 10  サークル等の団体旅行
- 11  ひとり

### Q13

Q12で回答した同行者と次に沖縄旅行をする場合、どのような旅行を楽しみたいですか。(いくつでも)

- 1  観光地めぐり
- 2  街歩き
- 3  ホテルステイ(ホテルでの滞在を楽しむ旅行)
- 4  海水浴・マリンスノー
- 5  ダイビング
- 6  エコツアー
- 7  ショッピング
- 8  歴史探訪(城跡や古い集落など)
- 9  カフェ・飲食店めぐり
- 10  ドライブ
- 11  離島めぐり
- 12  地元料理・グルメを楽しむ
- 13  伝統文化体験
- 14  イベント参加
- 15  地元の人との交流
- 16  スパ・エステ
- 17  CM・映画等のロケ地やSNSで話題のスポット訪問
- 18  その他

Q14

Q12で回答した同行者と沖縄旅行をする場合、宿泊地や主要観光地から、徒歩30分程度の移動を行う際に(例:飲食店に行く、コンビニや買い物に行く、次の観光スポットに移動する等)、どのような移動手段を実際に使ってみたいですか? (いくつでも)

- 1  電動でないレンタサイクル
- 2  電動のレンタサイクル
- 3  カーゴバイク(大きな荷物や子供を乗せて運搬できる自転車)
- 4  電動カート(低速のシニアカー・運転免許不要で歩道を走行するもの)
- 5  セグウェイ
- 6  レンタルの原付・バイク
- 7  レンタルの電動キックボード
- 8  観光スポットの巡回バス
- 9  地域のコミュニティバス
- 10  トクトク(タイなどで走っている屋根付きで側面に扉がない三輪自動車)
- 11  タクシー・ハイヤー
- 12  UberやDiDiのような一般ドライバーの有償運送
- 13  徒歩で移動する
- 14  その他

Q15

あなたの世帯の年収をお答えください。

- 1  300万円未満
- 2  300~400万円未満
- 3  400~500万円未満
- 4  500~600万円未満
- 5  600~700万円未満
- 6  700~800万円未満
- 7  800~1,000万円未満
- 8  1,000~1,500万円未満
- 9  1,500~2,000万円未満
- 10  2,000万円以上
- 11  収入なし

## 既刊目録





## 「公庫レポート」既刊目録

[数字は号数、( )は発行年月]

○ 沖縄県産業連関表による公共投資の波及効果分析 -特に沖縄公庫住宅融資を中心にして-	創刊号(S 56. 3)
○ 沖縄の住宅事情と需要の動向	創刊号(S 56. 3)
○ 昭和57年度設備投資計画調査報告	2 (S 56. 7)
○ 沖縄公庫の融資効果の評価と今後の方向 -沖縄公庫モデルを中心とした計量分析-	2 (S 56. 7)
○ 沖縄のホテル業界の現状と課題	3 (S 57. 3)
○ 沖縄県経済の現状と工業振興の方向	4 (S 57. 8)
○ 昭和58年度設備投資計画調査報告	4 (S 57. 8)
○ 沖縄県主要企業の財務行動	4 (S 57. 8)
○ 昭和58・59年度設備投資計画調査報告	5 (S 58. 8)
○ 沖縄の工業開発と技術集積	6 (S 59. 3)
○ 沖縄県における食肉加工業	6 (S 59. 3)
○ 昭和59・60年度設備投資計画調査報告	7 (S 59. 8)
○ アメリカの地域開発 -いくつかの事例を中心に-	7 (S 59. 8)
○ 昭和59・60年度設備投資計画調査報告(昭和59年10月調査)	8 (S 60. 1)
○ 21世紀沖縄の経済・社会構造と政策課題の提案	8 (S 60. 1)
○ 昭和60・61年度設備投資計画調査報告(昭和60年9月調査)	9 (S 60. 12)
○ 昭和60・61年度設備投資計画調査報告(昭和61年3月調査)	10 (S 61. 7)
○ 復帰特別措置の体系的検討	10 (S 61. 7)
○ 昭和61・62年度設備投資計画調査報告(昭和61年9月調査)	11 (S 62. 2)
○ 規制緩和下における沖縄の航空体制の課題	11 (S 62. 2)
○ 昭和61・62年度設備投資計画調査報告(昭和62年3月調査)	12 (S 62. 6)
○ 動向調査 沖縄の主要産業-昭和61年度の動向と見通し-	13 (S 62. 11)
○ 地域産業トピックス 水産 急成長を遂げるも市況悪化への対応に迫られる車エビ養殖 流通 中規模店化が進む小売業 環境変化への対応を迫られる婦人服店 急成長下、経営戦略が問われる中古車業界 需要低迷と価格低下で厳しさ増すガソリンスタンド サービス 質的变化が著しい飲食業界 振興事業に着手した美容業界 リゾート型参入で新展開が見込まれる県内ゴルフ場	13 (S 62. 11)
○ データ解説 昭和61年度個人住宅資金(一般住宅・建売住宅)利用者調査報告	13 (S 62. 11)
○ 開発調査 沖縄のリゾート開発の課題と開発資金の検討	13 (S 62. 11)
○ 昭和62・63年度設備投資計画調査報告(昭和62年9月調査)	14 (S 62. 12)
○ 昭和62・63年度設備投資計画調査報告(昭和63年3月調査)	15 (S 63. 6)
○ グラム・サイバン市場差別化策の検討	16 (S 63. 8)
○ 動向調査 沖縄の主要産業-昭和62年度の動向と見通し-	17 (S 63. 11)
○ 地域産業トピックス 製造 市場環境の変化と技術革新が著しい印刷業界 小売 変貌する鮮魚店、食肉店の需要環境 サービス 新たなサービスのあり方を探る理容業界	17 (S 63. 11)
○ データ解説 昭和62年度個人住宅建設資金利用者調査報告	17 (S 63. 11)
○ 昭和63・平成元年度設備投資計画調査報告(昭和63年9月調査)	18 (S 63. 12)
○ 沖縄県の住宅需要動向	19 (H 1. 4)
○ ハワイリゾートの現状と沖縄のリゾート開発の課題 -ハワイリゾート調査報告書-	20 (H 1. 4)
○ 昭和63・平成元年度設備投資計画調査報告(平成元年3月調査)	21 (H 1. 6)
○ 動向調査 沖縄の主要産業の動向-昭和63年度の動向を中心に-	22 (H 1.12)

○ 地域産業トピックス 不動産賃貸 空室率が高い沖縄の貸ビル サービス 沖縄県内の人材派遣業 自動車分解整備業の概要	22	(H 1.12)
○ データ解説 昭和63年度個人住宅建設資金利用者調査報告 労働生産性が低い県内製造業(工業統計調査より)	22	(H 1.12)
○ 平成元・2年度設備投資計画調査報告(平成元年3月調査)	22	(H 1.12)
○ 沖縄洋ラン切花生産の実態・本土市場調査	23	(H 2. 3)
○ タイ国の熱帯果樹農業の現状と輸出産業としての地位 —沖縄県の有望作物としての熱帯果樹産業に関する調査—	23	(H 2. 3)
○ データ解説 平成元年度個人住宅建設資金利用者調査報告	24	(H 2. 7)
○ 平成元・2年度設備投資計画調査報告(平成2年2月調査)	24	(H 2. 7)
○ 沖縄県におけるバイオマス資源活用産業 —新規胎動産業を探る—	25	(H 2. 8)
○ 地域産業トピックス 琉球ガラス産業界の現況 成長著しい県内の生花小売業 県内水産加工業の生産状況 競合激しい県内クリーニング業	26	(H 3. 3)
○ 平成2・3年度設備投資計画調査報告(平成2年9月調査)	26	(H 3. 3)
○ データ解説 平成2年度個人住宅建設資金利用者調査報告	27	(H 3. 7)
○ 平成2・3年度設備投資計画調査報告(平成3年3月調査)	27	(H 3. 7)
○ 沖縄県の観光土産品店	28	(H 4. 1)
○ 平成3・4年度設備投資計画調査報告(平成3年9月調査)	28	(H 4. 1)
○ データ解説 平成3年度個人住宅建設資金利用者調査報告	29	(H 4. 8)
○ 平成3・4年度設備投資計画調査報告(平成4年3月調査)	29	(H 4. 8)
○ 平成4・5年度設備投資計画調査報告(平成4年10月調査)	30	(H 5. 2)
○ データ解説 平成4年度マイホーム新築資金利用者調査報告	31	(H 5. 9)
○ 平成4・5年度設備投資計画調査報告(平成5年3月調査)	31	(H 5. 9)
○ 平成5・6年度設備投資計画調査報告(平成5年9月調査)	32	(H 6. 2)
○ 平成5・6年度設備投資計画調査報告(平成6年3月調査)	33	(H 6. 7)
○ 正念場を迎えるエステティック業界	34	(H 6. 8)
○ 泡盛製造業の現況について	34	(H 6. 8)
○ 需要低迷下生産性の向上が求められる生コン業界	35	(H 6. 9)
○ 沖縄県の花弁農業	35	(H 6. 9)
○ 沖縄県の伝統工芸産業	35	(H 6. 9)
○ データ解説 平成5年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成5年度マンション購入資金利用者調査報告	36	(H 6. 10)
○ 沖縄のデンファレ(切花)について	37	(H 6. 10)
○ 生産性の向上と新しい生産技術への対応が求められる印刷業界	37	(H 6. 10)
○ 貸アパート業実態調査	38	(H 6. 11)
○ 沖縄県のプレハブ住宅の現状について	38	(H 6. 11)
○ 競争激化が進む中で経営体質強化が求められる建設業	39	(H 6. 12)
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成6年9月調査)	39	(H 6. 12)
○ インドネシア・バリ島リゾートの現状	40	(H 7. 2)
○ マンゴー栽培の現状と産地形成に向けての課題	41	(H 7. 3)
○ 総合産業への変容が求められる500万人時代の沖縄観光	42	(H 7. 3)
○ 県内製糖業の現状	43	(H 7. 3)
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成7年3月調査)	44	(H 7. 5)
○ 公庫住宅資金利用者に係る耐久消費財等購入実態調査	45	(H 7. 8)

○ 県内駐車場業の現状と課題	46	(H 7. 9)
○ データ解説 平成6年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成6年度マンション購入資金利用者調査報告	47	(H 7. 9)
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成7年9月調査)	48	(H 7. 12)
○ 薬草加工販売業の現状と課題	49	(H 8. 1)
○ 新規開業の実態	50	(H 8. 1)
○ 持家取得実態調査	51	(H 8. 3)
○ 「わしたショップ」—拠点方式による県産品のマーケティング—	52	(H 8. 5)
○ 平成7・8年度設備投資計画調査報告(平成8年3月調査)	53	(H 8. 6)
○ 沖縄県におけるタラソテラピー事業可能性の検討 (フランス・タラソテラピー業界視察報告)	54	(H 8. 6)
○ 沖縄での展開が有望なタラソテラピーについて	54	(H 8. 6)
○ 県内小売業の現状	55	(H 8. 7)
○ データ解説 平成7年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成7年度マンション購入資金利用者調査報告	56	(H 8. 7)
○ 沖縄の養蜂	57	(H 8. 8)
○ 平成7・8年度設備投資計画調査報告(平成8年9月調査)	58	(H 8. 12)
○ 県内レンタカー業の現状 —大規模な規制緩和のもと、更なる発展が見込まれる県内レンタカー業—	59	(H 9. 1)
○ 県内貸ビル業の現状 —空室率が高い沖縄の貸ビル—	60	(H 9. 2)
○ マイホーム新築資金住宅の建設実態	61	(H 9. 3)
○ 車エビ養殖業の現状と課題 —全国一の生産県となるも市況悪化への対応が迫られる車エビ養殖業界—	62	(H 9. 4)
○ 台湾の中小企業とOEM	63	(H 9. 5)
○ 平成8・9年度設備投資計画調査報告(平成9年3月調査)	64	(H 9. 6)
○ データ解説 平成8年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成8年度マンション購入資金利用者調査報告	65	(H 9. 10)
○ 公庫住宅資金利用者に係る耐久消費財等購入実態調査	66	(H 9. 10)
○ 平成8・9年度設備投資計画調査報告(平成9年9月調査)	67	(H 9. 12)
○ 廃棄物リサイクル産業の現状と課題	68	(H 10. 6)
○ 平成9・10年度設備投資計画調査報告(平成10年3月調査)	69	(H 10. 6)
○ 沖縄の産業振興とマルチメディア	70	(H 10. 7)
○ データ解説 平成9年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成9年度マンション購入資金利用者調査報告	71	(H 10. 10)
○ 平成9・10年度設備投資計画調査報告(平成10年9月調査)	72	(H 10. 12)
○ 平成9年度ホテル経営状況	73	(H 10. 12)
○ ダイビング業界の現状と課題	74	(H 11. 3)
○ 平成10・11年度設備投資計画調査報告(平成11年3月調査)	75	(H 11. 8)
○ 平成10・11年度設備投資計画調査報告(平成11年9月調査)	76	(H 11. 12)
○ 平成10年度ホテル経営状況	77	(H 12. 2)
○ 新規開業の現状と創業支援	78	(H 12. 5)
○ 沖縄観光の構造転換に向けた整備課題 —ハワイを比較軸として—	79	(H 12. 7)
○ 1999・2000年度設備投資計画調査報告(2000年3月調査)	80	(H 12. 8)
○ 1999・2000年度設備投資計画調査報告(2000年9月調査)	81	(H 12. 12)
○ データ解説 平成11年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成11年度マンション購入資金利用者調査報告	82	(H 13. 1)
○ 台湾アグロインダストリー調査報告	83	(H 13. 3)
○ 1999年度ホテル経営状況	84	(H 13. 3)

○ 2000・2001年度設備投資計画調査報告(2001年3月調査)	85	(H 13. 5)
○ 地方都市の水産物市場と水産業の振興 —自由な市場と消費の拡大—	86	(H 13. 7)
○ 2000・2001年度設備投資計画調査報告(2001年9月調査)	87	(H 13. 12)
○ マンションの維持管理に関する調査報告	88	(H 14. 1)
○ 台湾情報通信産業調査報告	89	(H 14. 2)
○ 2000年度ホテル経営状況	90	(H 14. 3)
○ 県内ホテルの経営課題と改善に向けた方向性	90	(H 14. 3)
○ 2001・2002年度設備投資計画調査報告(2002年3月調査)	91	(H 14. 6)
○ データ解説 平成13年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成13年度マンション購入資金利用者調査報告	92	(H 14. 11)
○ 2001・2002年度設備投資計画調査報告(2002年9月調査)	93	(H 14. 12)
○ 2001年度ホテル経営状況	94	(H 15. 7)
○ 2002・2003年度設備投資計画調査報告(2003年3月調査)	95	(H 15. 8)
○ 2002・2003年度設備投資計画調査報告(2003年9月調査)	96	(H 16. 1)
○ 2003・2004年度設備投資計画調査報告(2004年3月調査)	97	(H 16. 6)
○ データ解説 平成14年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成14年度マンション購入資金利用者調査報告	98	(H 16. 7)
○ 2002年度ホテル経営状況	99	(H 16. 8)
○ 2003・2004年度設備投資計画調査報告(2004年9月調査)	100	(H 16. 11)
○ 2004・2005年度設備投資計画調査報告(2005年3月調査)	101	(H 17. 6)
○ 2004・2005年度設備投資計画調査報告(2005年9月調査)	102	(H 17. 11)
○ 2005・2006年度設備投資計画調査報告(2006年3月調査)	103	(H 18. 9)
○ 泡盛業界の現状と課題 —最近の泡盛・もろみ酢の動向を中心に—	104	(H 18. 10)
○ 2005・2006年度設備投資計画調査報告(2006年9月調査)	105	(H 18. 12)
○ 2006・2007年度設備投資計画調査報告(2007年3月調査)	106	(H 19. 9)
○ 2006・2007年度設備投資計画調査報告(2007年9月調査)	107	(H 19. 11)
○ バイオエタノールの現状 —JETRO・ブラジルバイオエタノールミッション報告—	108	(H 20. 3)
○ 2007・2008年度設備投資計画調査報告(2008年3月調査)	109	(H 20. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状	110	(H 20. 7)
○ 2007・2008年度設備投資計画調査報告(2008年9月調査)	111	(H 20. 11)
○ 2007年度県内主要ホテルの稼働状況	112	(H 20. 12)
○ 2008・2009年度設備投資計画調査報告(2009年3月調査)	113	(H 21. 6)
○ 2008・2009年度設備投資計画調査報告(2009年9月調査)	114	(H 21. 12)
○ 沖縄県内ホテルのホスピタリティ向上への取り組み状況 2008年度県内主要ホテルの稼働状況	115	(H 22. 3)
○ 2009・2010年度設備投資計画調査報告(2010年3月調査)	116	(H 22. 6)
○ 2009年度県内主要ホテルの稼働状況	117	(H 22. 7)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状2010	118	(H 22. 9)
○ 2009・2010年度設備投資計画調査報告(2010年9月調査)	119	(H 22. 11)
○ 沖縄県内の「道の駅」と「農産物直売所」	120	(H 23. 4)
○ 2010・2011年度設備投資計画調査報告(2011年3月調査)	121	(H 23. 6)
○ 2010年度県内主要ホテルの稼働状況 東日本大震災による県内主要ホテルへの影響	122	(H 23. 7)
○ 2010・2011年度設備投資計画調査報告(2011年9月調査)	123	(H 23. 11)
○ 平成22年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	124	(H 24. 4)

○ 2011・2012年度設備投資計画調査報告(2012年3月調査)	125	(H 24. 6)
○ 2011年度県内主要ホテルの稼働状況 八重山主要ホテルの稼働状況	126	(H 24. 10)
○ 2011・2012年度設備投資計画調査報告(2012年9月調査)	127	(H 24. 11)
○ 沖縄:新たな挑戦 経済のグローバル化と地域の繁栄 世界の目を沖縄へ、沖縄の心を世界へ	128	(H 25. 2)
○ OKINAWA: THE CHALLENGES AHEAD THRIVING LOCALLY IN A GLOBALIZED ECONOMY "AS THE EYES OF THE WORLD FOCUS ON OKINAWA OKINAWA OFFERS ITS HEART TO THE WORLD"	129	(H 25. 2)
○ 2012・2013年度設備投資計画調査報告(2013年3月調査)	130	(H 25. 6)
○ 2012年度県内主要ホテルの稼働状況	131	(H 25. 9)
○ 2012・2013年度設備投資計画調査報告(2013年9月調査)	132	(H 25. 12)
○ 平成24年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	133	(H 26. 5)
○ 2013・2014年度設備投資計画調査報告(2014年3月調査)	134	(H 26. 6)
○ 世界自然遺産登録を活かした奄美・琉球の地域活性化策 (やんばる地域・西表島編)～持続可能な地域づくりに向けて～	135	(H 26. 6)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2013年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 シティホテルの長期稼働状況からみた今後の取組 第三部 県内の宿泊特化型ホテルの動向分析	136	(H 26. 10)
○ 2013・2014年度設備投資計画調査報告(2014年9月調査)	137	(H 26. 11)
○ 「人手不足の影響と人材確保の取組」に関する調査報告	138	(H 27. 4)
○ 「沖縄の6次産業化認定企業の現況と今後の取組」に関する調査報告	139	(H 27. 5)
○ 2014・2015年度設備投資計画調査報告(2015年3月調査)	140	(H 27. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状2015	141	(H 27. 10)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2014年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 新石垣空港開港に伴う八重山地域主要ホテルの稼働状況	142	(H 27. 11)
○ 2014・2015年度設備投資計画調査報告(2015年9月調査)	143	(H 27. 11)
○ 平成26年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	144	(H 28. 3)
○ 「インバウンドの影響とその取組」に関する調査報告	145	(H 28. 3)
○ 2015・2016年度設備投資計画調査報告(2016年3月調査)	146	(H 28. 6)
○ 2015・2016年度設備投資計画調査報告(2016年9月調査)	147	(H 28. 11)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2015年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 沖縄県内主要ホテルの人手不足に関する調査報告	148	(H 28. 12)
○ 「沖縄における若年雇用問題 -ミスマッチを生む意識構造の分析を中心に-」 に関する調査報告	149	(H 29. 2)
○ 定住・交流人口の維持・増加に向けた考察 第一部 沖縄への移住意向に関する調査報告 第二部 沖縄の離島観光に関する意識調査報告	150	(H 29. 5)
○ 2016・2017年度設備投資計画調査報告(2017年3月調査)	151	(H 29. 5)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2016年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 リーマンショック直前からの長期推移	152	(H 29. 10)
○ 2016・2017年度設備投資計画調査報告(2017年9月調査)	153	(H 29. 11)
○ 拡大する沖縄経済の下で深刻化する人手不足 ～県内企業への影響と課題への対応～	154	(H 30. 1)
○ 県内小規模企業実態調査報告	155	(H 30. 5)
○ 2017・2018年度設備投資計画調査報告(2018年3月調査)	156	(H 30. 6)
○ 教育資金と進学意識に関する調査結果 第一部 平成28年度 沖縄公庫教育資金利用者調査 第二部 進学に対する親と学生の意識調査	157	(H 30. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた泡盛メーカーの現状と課題について	158	(H 30. 7)

○ 2017・2018年度設備投資計画調査報告(2018年9月調査)	159	(H 30. 11)
○ 県内主要ホテルの動向分析	160	(H 31. 3)
第一部 2017年度県内主要ホテルの稼働状況		
第二部 県内主要ホテルの改装動向		
○ 2018・2019年度設備投資計画調査報告(2019年3月調査)	161	(R 1. 6)
○ 2018・2019年度設備投資計画調査報告(2019年9月調査)	162	(R 1. 11)
○ 2018年度県内主要ホテルの稼働状況	163	(R 1. 12)
○ 平成30年度 沖縄公庫教育資金利用者調査	164	(R 2. 3)
○ 2019・2020年度設備投資計画調査報告(2020年3月調査)	165	(R 2. 6)
○ 2019・2020年度設備投資計画調査報告(2020年9月調査)	166	(R 2.12)
○ 沖縄県内の物流需給バランスの現状と将来推計について	167	(R 3. 3)
○ 沖縄公庫取引先の事業承継に関する実態調査	168	(R 3. 3)
○ 2019年度県内主要ホテルの稼働状況	169	(R 3. 6)
○ コロナ禍における自治体経営の状況と今後の展望	170	(R 3. 6)
○ 「コロナ禍における旅行者の動向と沖縄が取り組むべき事項」に関する調査	171	(R 3. 6)
第一部 「コロナ禍における日本人旅行者の動向と沖縄が取り組むべき事項」 に関する調査報告		
第二部 「コロナ禍における訪日外国人旅行者の意向と沖縄が取り組むべき事項」 ～DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)より～		
○ 2020・2021年度設備投資計画調査報告(2021年3月調査)	172	(R 3. 6)
○ 2020・2021年度設備投資計画調査報告(2021年9月調査)	173	(R 3. 10)
○ 2020年度県内主要ホテルの稼働状況	174	(R 3. 11)
○ 新型コロナウイルス感染症の県内景況に及ぼす影響について	175	(R 4. 2)
○ 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者調査	176	(R 4. 3)
第一部 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者調査		
第二部 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者意識調査		
○ ポストコロナ時代に向けた自治体経営の状況と今後の展望	177	(R 4. 5)
○ コロナ禍における日本人・訪日外国人の沖縄旅行に関する調査	178	(R 4. 5)
第一部 コロナ禍における日本人の沖縄旅行に関する調査(2021年版)		
第二部 コロナ禍における訪日外国人旅行者の意向調査【沖縄版】 ～DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査)より～		
○ 「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方」に関する調査 ～これからの“旅行牽引世代”の意向を踏まえた観光(観光地)とは～	179	(R 4. 6)
○ 2021・2022年度設備投資計画調査報告(2022年3月調査)	180	(R 4. 6)
○ 2021・2022年度設備投資計画調査報告(2022年9月調査)	181	(R 4. 11)
○ 2021年度県内主要ホテルの稼働状況	182	(R 5. 1)
○ ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査 ～レンタカーを利用しない観光客のニーズから考える移動手段～	183	(R 5. 6)

---

## 公庫レポート

令和5年6月発行

編集兼発行者 大西 公一郎  
発行所 沖縄振興開発金融公庫  
調査部 地域連携情報室  
那覇市おもろまち1丁目2番26号  
電話(098)941-1853  
FAX(098)941-1920  
URL <https://www.okinawakouko.go.jp>  
印刷所 有限会社アイドマ印刷

---

本レポートは再生紙を使用しています。



沖縄振興開発金融公庫

THE OKINAWA DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION